SoftBank X06HT

User Guide 取扱説明書

はじめに

このたびは、「SoftBank X06HT」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

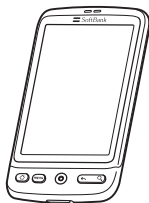
- SoftBank X06HTをご利用の前に、「クイックスタート」、「お願いとご注意」および「取扱説明書（本書）」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

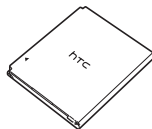
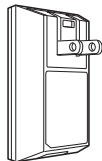
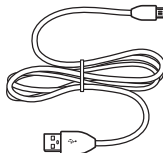
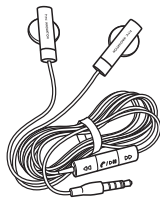
SoftBank X06HTは、3G方式とGSM方式に対応しております。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がございましたらお問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。
- X06HT 内蔵のソフトウェアや追加ソフトウェアを使用された結果について、当社はいかなる保証もいたしかねます。なおソフトウェアのご使用に際して、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されていないときは必ずその使用条件をご確認ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本書の最新版は、ソフトバンクモバイルホームページからダウンロードできます。
http://www.softbank.jp/mb/r/support/x06ht/

お買い上げ品の確認

■X06HT本体※1

■電池パック（HTBAF1）

■ACアダプタ（HTCAF1）

■microUSBケーブル(HTDAF1)

■マイクロフォン付きイヤホン（HTLAF1）

■microSDメモリカード(試供品)※2

■電池カバー

■クイックスタート

■お願いとご注意

※1 本機の充電にはソフトバンクの指定した充電器を使用してください。

※2 本機は、microSDメモリカード/microSDHCメモリカードを利用できます。お買い上げ時、microSDメモリカード（試供品）は、X06HT本体に装着されています。

補足

- 本機の充電器およびその他のオプション品につきましては、お問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。

目次

1 ご利用になる前に

2 個人設定

3 電話

4 連絡先

5 オンラインアカウントの管理

6 ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）

7 メール

8 文字入力

9 カレンダー

10 時計と天気情報

11 インターネット

12 Bluetooth®

13 カメラ

14 静止画／動画の利用

15 音楽再生

16 地図機能

17 その他のアプリケーション

18 セキュリティ

19 設定と管理

20 付録

本書の見かた

操作手順の表記について

■項目選択

以下の例のように選択するメニュー名や項目名などは色分けして示しています。

例：**1.** [ホームボタン] > 連絡先 > 連絡先の追加 > **電話番号を入力**

特に説明がない場合は、ホーム画面（P.1-13）からの操作手順を記載しています。

詳細な操作手順を記載しています。

■反転表示

以下の例のようにオプティカルジョイスティックを使用して対象の項目にカーソルを合わせる場合は、「反転表示」と表記しています。

例：**2.** **対象の連絡先を反転表示**

■ボタン

以下の例のように名称とイラストで説明しています。

例：**1.** **メニューボタン（menu）** > 設定 > 個人設定

- 以降、本書において「SoftBank X06HT」は「本機」、「microSD™/microSDHC™カード」は「メモリカード」と記載させていただきます。
- 本書に記載されている画面表示はあくまで例であり、実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合といった原因によって、通話や通信が困難となり、お客様、または第三者が損害を受けられたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

	この表示は、取扱いを誤った場合、**「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」**内容です
	この表示は、取扱いを誤った場合、**「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」**内容です
	この表示は、取扱いを誤った場合、**「傷害※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3のみの発生が想定される」**内容です

※1 重傷とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示しています。
	分解してはいけないことを示します。
	水がかかる場所で使用したり、水にぬらしてはいけないことを示します。
	ぬれた手で扱ってはいけないことを示します。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

■ 本機、電池パック、USIMカード、マイクロフォン付きイヤホン、microUSBケーブル、メモリカード（試供品）、充電器の取り扱いについて（共通）

⚠危険

	分解や改造をしない 絶対に分解や改造をしないでください。けがや感電などの傷害や火災が発生する恐れがあります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。本体内部の点検・調整・修理は、ソフトバンクの故障受付窓口にご依頼ください。
	水にぬらさない 水につけたり、水をかけたりしないでください。水や海水、ペットの尿などの液体が機器の本体に入ると、発熱・感電・火災などの発生により故障やけがの原因となります。また、電池パックの破損や性能の劣化、寿命の低下を引き起こす原因となります。
	本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わない 電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
	高温になる場所で使用したり放置したりしない 火のそばやストーブのそば、直射日光の強い所、炎天下の車内など、高温になる場所での使用や放置は避けてください。本機の変形や故障、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火の発生、および性能の劣化や寿命の低下の原因となります。また、電池カバーの一部が高温となり、やけどの原因となることがあります。
	本機に使用する電池パックおよび充電器は、ソフトバンクが指定したものを使用する 指定以外のものを使用すると、漏液・発熱・破裂・発火などによって、本機や電池パック、その他の機器の故障の原因となります。

警告

	水などの入った容器を近くに置かない 花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。液体がこぼれて本機にかかったり、液体が本機の内部に入った場合は、火災や感電の原因となります。
	電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に、電池パックや本機、充電器、USIMカードを入れない 電池パックの漏液・発熱・破裂・発火、および本機や充電器の発熱・発煙・発火の恐れがあり、回路部品を破壊する原因となります。
	ガソリンスタンドなど、引火物がある場所では使用しない ガソリンスタンドなど、引火ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本機の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない

持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。万一、落とすなどして破損した場合は、電池パックを外して、ソフトバンクの故障受付窓口（P.20-18）にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管する

乳幼児が飲み込んだりする事故の原因となります。

内部に異物などが入ったときは

本機の電源を切って電池パックを取り外した後、ACアダプタのACプラグをACコンセントから抜いて、ソフトバンクの故障受付窓口（P.20-18）にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

異常が起きたら

使用中や充電中、または保管しているときに、異臭・発熱・変色・変形などの異常に気づいたときは、直ちに次のような処置をとってください。

1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. 電池パックを本機から取り外してください。
4. ソフトバンクの故障受付窓口（P.20-18）に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、発熱・破裂・発火の恐れや、電池パックの漏液の原因となります。

注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所には置かない

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には保管しない

故障の原因となります。

冷気が直接吹きつける場所に長時間放置しない

露が付き、漏電や焼損の原因となることがあります。

極端に寒い場所に長時間放置しない

故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい場所で使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 磁気カードなどを本機に近づけたり、挟んだりしないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消失することがあります。

お子さまが本機を使用する場合は、保護者から取り扱いの内容を教える

使用中においても、指示どおりに使用しているかどうかをご注意ください。けがなどの原因となります。

USIMカードの取り外し／取り付けについて

手や指を傷つける可能性がありますのでご注意ください。

■ 電池パックの取り扱いについて

⚠危険

電池パックのラベルに電池の種類が記載されています。お使いの電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオンポリマー電池

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守る

正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷や変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 電池パックを本機に装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。

火の中に投下しない

電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させたり、端子どうしを接続したりしない

充電用端子に金属製のストラップやボールペンのような筆記用具などを接触させないでください。金属製のネックレスやヘアピンと一緒に持ち運んだり保管したりすると、端子に接触する可能性がありますので避けてください。端子に金属製のものが接触すると、電池パックの漏液・発熱・発火・感電の恐れがあり、やけどやけがの原因となります。

電池パック内部の液体が目に入った場合、こすらずにすぐにきれいな水で洗い流した後、直ちに医師の治療を受ける

そのままにしておくと、失明の恐れがあります。

警告

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する

電池パックが漏液・発熱・破壊・発火する原因となります。

電池パックから漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用を中止して火気から遠ざける

漏液した液体に引火する恐れがあり、発火・破裂の原因となります。

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用を中止してきれいな水で洗い流す

皮膚に傷害を引き起こす恐れがあります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱や変色・変形など、今までとは異なる状態に気づいたときには、使用を中止して本機から取り外す

そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

注意

衝撃を与えたり、投げつけたりしない

発熱・破裂・発火の原因になることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置したりしない

発熱や発火の原因となることがあります。また、電池パックの性能や寿命を低下させる場合があります。

一般のゴミと一緒に捨てない

不要となった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。
電池を分別廃棄している市町村の場合は、その規則に基づいて廃棄してください。

その他

- 電池パックの充電は、適正な充電温度範囲内（5℃～35℃）の場所以外では行わないでください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管や放置をしないでください。

■ 本機の取り扱いについて

警告

車の運転中に使用しない

運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となり、本機もこれに該当します。また、付属のマイクロフォン付きイヤホンをご利用の場合でも、安全な場所に車を止めてからご使用ください。交通事故の原因となります。

車のダッシュボードの上など、エアバックが開いたときに影響を受けそうな場所に本機を置かない

エアバックが開いたとき、本機がご本人や同乗者に当たる恐れがあり、けがや事故、および故障や破損の原因となります。

フラッシュライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない
また、フラッシュライト点灯時は発光部を直視しない
同様にフラッシュライトを他の人の目に向けて点灯させない

視力低下などの傷害を起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

歩行中の使用

歩行中の使用は注意力が散漫になるため周囲にはご注意ください。特に、横断歩道や踏切などでは十分に気を付けてください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切る

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電子機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

航空機内では、本機の電源を切る

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。本機を機内モードにすると電波を発する機能はすべて無効となります。

心臓の弱い方は、着信音量やバイブレータ（振動）の設定に気を付ける

大きすぎる着信音や突然の振動は、心臓に悪影響を及ぼす可能性があります。

屋外で使用中、雷が鳴り出したら、直ちに本機の電源を切って安全な場所に移動する

落雷や感電の恐れがあります。

自動車内で本機を使用したとき、車載電子機器に影響を与える場合は使用しない

車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあり、安全を損なう恐れがあります。

本機にICカード・磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしない

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

本機の温度（発熱）について

充電、動画の撮影・再生の最中や、長時間連続で使用した場合、本機の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れているとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。本機を充電器に接続した状態で長時間連続使用する場合には特にご注意ください。

音量設定については十分気を付ける

思わぬ大音量により耳に悪影響を及ぼす場合があります。また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

スピーカーフォンがオンになっているときは、必ず本機を耳から離す

スピーカーフォンは、本機を耳から離しても十分聞こえる音量になっています。耳を近づけていると音量が大きすぎるため、耳に悪影響を及ぼす場合があります。

お客様の体質や体調によって、かゆみ、かぶれ、湿疹などの異状が生じた場合は、直ちに使用を中止し、医師の診療を受ける

次の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
本体（正面）	ポリカーボネート	塗装
本体（背面）	ポリカーボネート	塗装
オプティカルジョイスティック	アルミニウム	埋め込み型
前面ボタン	ポリカーボネート／ゴム	プラスティック塗装
カメラプレート	アルミニウム	埋め込み型
電池パック端子	銅	金メッキ
外部接続端子	ポリカーボネート／ステンレス／銅	金メッキ
ネジ	鉄	金属メッキ
イヤホンケーブル	ゴム／ステンレス／銅	―
ACアダプタプラグ	ポリカーボネート／ステンレス	―
USBケーブル	ゴム／ステンレス／銅	―

■ 充電器の取り扱いについて

警告

市販の「変圧器」は使用しない

ACアダプタを、海外旅行用として市販されている「変圧器」などに接続すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぬれた手でプラグの抜き差しをしない

感電の原因となります。

タコ足配線はしない

発熱により火災の原因となります。

コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせない

端子に金属を接触させてショートさせたり、指先や手など身体の一部を接触させないでください。火災・故障・感電・傷害の原因となります。

充電中は、布や布団で覆ったり、包んだりしない

熱がこもって火災や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したらACアダプタには触れない

落雷や感電の原因となります。

指定以外の電源、電圧で使用しない

指定範囲外の電圧で使用すると、火災や故障の原因となります。
ACアダプタ：AC100～240V

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込む

感電・ショート・火災などの原因となります。

ACアダプタのコードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）

直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

プラグにほこりがついたときは、プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などでふき取る

火災の原因となります。

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってコンセントからプラグを抜く

感電・発煙・火災の原因となります。

⚠注意

ACアダプタのコードの上に重いものをのせない

感電や火災の原因となります。

ACアダプタのコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。充電器のプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。
- AC コンセントの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えない

けがや故障の原因となります。

長期間ご使用にならないときは、ACアダプタのACプラグをACコンセントから抜く

感電やけがの原因となることがあります。

お手入れの際は、ACアダプタのACプラグをコンセントから抜いてから行う

感電やけがの原因となることがあります。

■ 医療電気機器の近くでのご使用上の注意

警告

「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成9年4月］）に準じた内容について記載しています。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器をご使用されている場合、機器の装着部から本機を22cm以上離して携行および使用する

本機から発せられる電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中などの混雑した場所で、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がある場所では本機の電源を切る

本機から発せられる電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守る

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）の中には、本機を持ち込まない。
- 病棟内では本機の電源を切る。
- ロビーや待合室などでも付近で医用電気機器が使用されている場合は、本機の電源を切る。
- 医療機関内で、使用および持ち込みなどが禁止されている場所については、その医療機関の指示に従う。

自宅療養など医療機関以外の場所で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用されている場合は、電波による影響について各医用電気機器のメーカーや販売元に確認する

本機から発せられる電波により、医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

● 事故や故障などにより本機やメモリカードに登録したデータ（連絡先、画像、音楽など）が消失・変化したときの損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な連絡先などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。

● 本機は、電波を利用しているため、屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話や通信が困難になることがあります。また、通話中に電波状態が悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。

● 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。

● 本機は電波法に定められた無線局です。電波法に基づく検査を受けていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

● 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音の発生などの影響を与えることがありますので、ご注意ください。

● 傍受にご注意ください。

本機はデジタル信号を利用しているため、傍受されにくくなっていますが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法によって第三者が故意に傍受するようなこともまったくないとは限りません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。

・傍受（ぼうじゅ）とは
無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

● 運転をしながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。

● 本機をご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。

● 本機を車内で使用したとき、自動車の車種によっては、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますのでご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

● 本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

● 航空機内では原則的に本機の電源をお切りください。本機を機内モードにすると電波を発する機能はすべて無効となりますが、ご使用については乗務員にご確認ください。

お取り扱いについて

● 本機は防水仕様でありません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。

・雨の日は、バッグの外側のポケットに入れたり、手で持ち歩いたりしないでください。

・エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。

・洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れたまま身体をかがめると、洗面所に落としたり、水にぬらしたりする原因となります。

・海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり、直射日光が当たったりしないように、バッグなどに入れてください。

・汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。手や身体の汗が本機の内部に入り、故障の原因となることがあります。

- 本機の電池パックを長い間外したままにしていたり、電池残量のない状態で放置したりしていると、お客様が本機に登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますのでご注意ください。なお、内容の消失・変化に関して発生した損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は、本機や電池パックの温度がやや高くなることがありますが、異常ではありません。
- カメラのレンズ部分に直射日光を長時間当てると、内部のカラーフィルターが変色し、映像が変色することがありますのでご注意ください。
- 本機を落下させたり強い衝撃を与えたりしないでください。
- 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、本機に印字されている文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- 本機は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 本機のタッチパネルを堅いものでこすったり、傷つけたりしないようご注意ください。
- イヤホンをご使用中、音量が大きすぎると音が外にもれることがあります。周囲の方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  - 本機をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
  - 荷物のつまったバッグなどに入れるときは、重いものの下にならないようにご注意ください。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り出してください。
  - 充電器を接続して充電しているときは、必ず充電器を取り外し、本機の電源を切ってから取り出してください。
  - データを登録している最中や、メールの送受信中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
- 本機の外部接続端子（USBポート）には、指定品以外のものは取り付けないでください。誤動作を起こしたり、本機が破損したりすることがあります。

著作権などについて

音楽、静止画、動画、コンピュータ・プログラム、データベースなどは、その著作物および著作権者の権利が著作権法により保護されています。このような著作物の複製は、個人的にまたは家庭内での使用を目的とした場合のみ行うことができます。上記以外の目的で、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰の対象となることがあります。本製品を使用して複製などを行うときは、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
また、本機にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

商標について

● microSD™ とそのロゴ、microSDHC™ とそのロゴは、SDアソシエーションの商標です。

● Bluetooth® とそのロゴは、Bluetooth® SIG, INC の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。

● Wi-Fi Certified® とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

● QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

● Microsoft、Windows、Outlook、PowerPoint、Excel、ActiveSync、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

● WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。

● Adobe®、Acrobat®、Adobe Reader® とそれぞれのロゴは、米国Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

● 3G High Speedは、ソフトバンクモバイル株式会社の登録商標です。

● SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

● 「Yahoo!」および「Yahoo!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

● その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

● 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされています。これは、お客様の個人的かつ非営利目的において次のような用途に限ってライセンスされており、その他の用途については認められていません。
  ・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4ビデオ)を記録する場合
  ・個人的かつ非営利的活動において、消費者によって記録されたMPEG-4ビデオの再生
  ・MPEG-LAからライセンスされた提供者によるMPEG-4ビデオの再生
  ・詳細な情報については、米国法人MPEG LA. LLCまでお問い合わせください。

● Copyright 2010 Google Inc. 使用許可取得済
Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Androidマーケット、Androidマーケットロゴ、Gmail、Google Apps、Google Calendar、Google Checkout、Google Earth、Google Latitude、Google Maps、Google Talk、Picasa、およびYouTubeは、Google Inc.の商標です。その他会社名および製品も、関連する会社の商標である場合があります。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

● 本機は、Bluetooth®機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth®機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
● Bluetooth®機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
● 本機では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、キーボード、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。

周波数帯域について

本機のBluetooth®機能／ワイヤレスLAN機能が使用する周波数帯は、本機の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

・周波数帯：2.4GHz
・変調方式：FH-SS、DS-SS、OFDM
・想定される与干渉距離
FH1：10m以下
DS4, OF4：40m以下
・2.4GHz～2.4835GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能
※ 利用可能なチャンネルは国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®機器使用上の注意事項

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、お問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。

● Bluetooth®機能は日本国内で使用してください。本機のBluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SARポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。
＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。
ソフトバンクでは、ボディ SARに関する技術基準として、欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。
＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのWebサイトからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は、1.04W/kgです。

身体装着の場合：本機では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。
上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のWebサイトを参照してください。

Cellular Telecommunication & Internet Association (CTIA)
http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

本機は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）

ワイヤレスLAN（WLAN）に関するご注意

ワイヤレスLANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

● 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
● テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
● 近くに複数の Wi-Fi アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、お問い合わせ先（P.20-18）までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お問い合わせ先（P.20-18）までお問い合わせください。

● ワイヤレスLAN（WLAN）機能は日本国内で使用してください。本機のワイヤレスLAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種X06HTの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明（技術基準適合証明）を受ける必要があります。この携帯電話機X06HTも財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは0.585W/kgです。この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最

が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.96W/kg※です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のWebサイトをご参照ください。
http://www.who.int/emf（英文のみ）

※ 身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

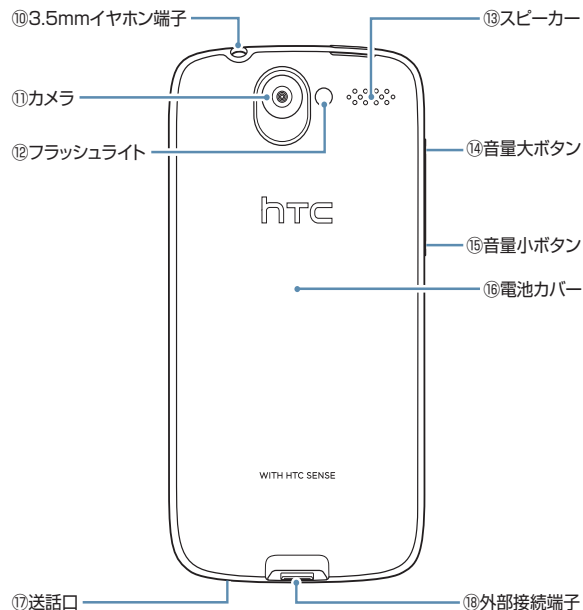
1 ご利用になる前に

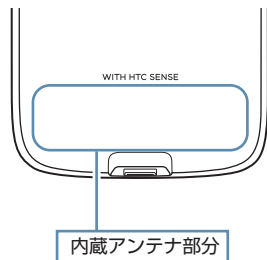
各部の名称と機能

本体

■正面

名称	説明
① **電源ボタン（⏻）**	・電源をオンにします。 ・1秒以上押すと「携帯電話オプション」を表示します。電源をオフにしたりマナーモードを設定できます（P.1-10、P.1-12）。 ・押すたびにタッチパネルを点灯／消灯します。
② **受話口**	相手の声がここから聞こえます。
③ **タッチパネル（P.1-14）**	指で直接触れて操作します。メニューや項目の選択、画面のスクロールやパン（P.1-15）などの操作ができます。
④ **ホームボタン（⌂）**	現在の画面表示からホーム画面に戻ります。 ・ホーム画面で押すと、すべてのホーム画面がサムネイルで表示されます。 ・長押しすると、最近使用したプログラムを表示します。
⑤ **メニューボタン（menu）**	現在の画面で使用できる機能一覧またはオプションメニューを表示します。
⑥ **オプティカルジョイスティック（P.1-16）**	画面上で反転表示したり、項目を選択します。
⑦ **通知ランプ**	・点灯（緑）：電池パック残量が十分です（ACアダプタ使用、またはパソコンとの接続によって充電されているとき）。 ・点灯（オレンジ）：電池パックは充電中です。 ・点滅（赤）：電池パック残量が少なくなっています。 ・点滅（緑）：通知が保留中です。
⑧ **検索ボタン（🔍）**	現在表示している画面またはプログラムに関連する情報を検索します。
⑨ **戻るボタン（↶）**	前画面に戻ります。

■背面

名称	説明
⑩ **3.5mmイヤホン端子**	マイクロフォン付きイヤホンを接続します。
⑪ **カメラ**	静止画や動画の撮影を行います(P.13-2)。
⑫ **フラッシュライト**	カメラ撮影時のライトとして使用します(P.13-2)。
⑬ **スピーカー**	着信音やスピーカーフォン通話中の相手の声などが聞こえます。
⑭ **音量大ボタン**	音量を上げます。
⑮ **音量小ボタン**	音量を下げます。
⑯ **電池カバー**	電池カバーを開けてUSIM カードや電池パック、メモリカードの取り付け/取り外しをします(P.1-6、P.1-8、P.20-2)。
⑰ **送話口**	自分の声をここから伝えます。録音するときはマイクになります。
⑱ **外部接続端子**	充電器やUSBケーブルを接続します。

内蔵アンテナに関するご注意

注意

- アンテナは本体下部に内蔵されており、アンテナ付近を手で覆うと、通話品質に影響を及ぼす場合があります。

ステータスバー

ステータスバーは、本機の画面上部にあります。ステータスバーの左側には通知アイコン、右側には本機のステータスを表示しています。

通知アイコン

ステータスバーに表示される通知アイコンは次のとおりです。

アイコン	説明
	新着Gmailメールあり
	新着メールあり
	新着SMSあり
	SMS送信トラブル
	新着留守番メッセージあり
	予定
	楽曲再生中
	その他のトラブル／同期トラブルなど
	メモリカードがいっぱいです
	Wi-Fiがオンかつ無線LANネットワークが利用可能
	USBケーブルでパソコンに接続中
	データ同期中／HTC Sync 接続中
	新着ツイートあり
	FMラジオ使用中
	隠れた通知を表示
	発信中／通話中
	不在着信あり
	保留中
	着信転送
	コンパス方位未設定
	データのアップロード
	データのダウンロード
	アップロード待機中

- コンテンツのインストール完了
- Androidマーケットのプログラムがアップデート可能
- メモリカード取り外し可能／準備中
- メモリカード未挿入

ステータスアイコン

ステータスバーに表示されるステータスアイコンは次のとおりです。

- 3G接続中
- 3G使用中
- GPRS接続中
- GPRS使用中
- HSPA接続中
- HSPA使用中
- Wi-Fiネットワーク接続中
- Bluetooth® オン
- Bluetooth®デバイスに接続中
- 機内モード
- アラーム設定中
- スピーカーフォン
- データ同期中
- 電波レベル
- ローミング中
- 圏外
- USIMカード未挿入
- マナーモード
- スピーカー消音
- マイク消音
- 要充電
- 電池パック残量が少なくなっています
- 電池パック残量十分
- 電池パック充電中
- マイクロフォン付きイヤホン接続中
- イヤホン接続中

通知パネルを開くには

ステータスバーに新しい通知アイコンが表示されたときは、ステータスバーを下向きにスライドすると通知パネルを開くことができます。

複数の通知がある場合、下にスクロールして通知を見ることができます。

補足

- ホーム画面の通知パネルは、メニューボタン（MENU）を押して**通知**をタップしても開くことができます。

通知パネルを閉じるには

通知パネル下のバーを上方向にスライドさせるか、戻るボタン（↩）を押してください。

メモリカードについて

本機はメモリカード（microSD™/microSDHC™カード）に対応しています。

● 本機は最大32Gバイトまでのメモリカードに対応しています。ただし、すべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。
● Webページのブックマーク、メッセージなどのデータやWi-Fiのパスワードなどの設定内容は、自動的にメモリカードへバックアップされます。バックアップされるデータは以下のとおりです。
  • SMS
  • ブラウザのブックマーク
  • 設定
    ・アプリケーションの設定
    ・無線とネットワーク
    ・音とディスプレイ
    ・位置情報
    ・日時設定
● お買い上げ時の状態にリセットしたり、システムをアップグレードした場合に、メモリカードに保存したデータや設定を本機に復元することができます。

注意

- データをバックアップするため、電源を入れる前に必ずメモリカードを本体にセットしてください（P.1-6）。
- メモリカードの登録内容は、事故や故障によって消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリカードにアクセスしているときは、電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。データが破損したり、メモリカードが使えなくなる場合があります。

バックアップ機能をオンにする

1. **メニューボタン（menu）＞設定**
2. **プライバシー＞データと設定をバックアップ**
3. **「データと設定をバックアップ」にチェックを付ける**

バックアップデータを復元する

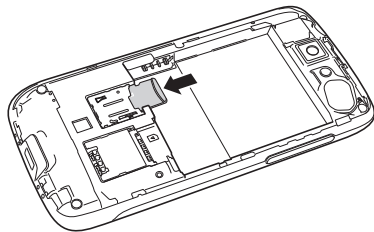
お買い上げ時の状態にリセットしたり、システムをアップグレードした場合は、バックアップデータを復元するかどうかを選択します。

1. **本機のリセットまたはシステムのアップグレード後、自動的に再起動**
   メモリカードにバックアップデータが保存されている場合は、バックアップデータを復元するかどうかのメッセージが表示されます。
2. OK

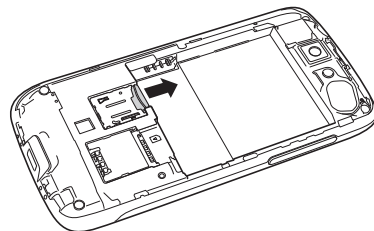
メモリカードを取り付ける／取り外す

メモリカードの取り付け／取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

■メモリカードの取り付け

1. **電池カバーを取り外す**
2. **端子面を下にしてメモリカードをメモリカードスロットに挿入し、ロックされるまで押し込む**

3. 電池カバーを取り付ける

■メモリカードの取り外し

1. 電池カバーを取り外す
2. メモリカードスロットにメモリカードを軽く押し込む
   メモリカードスロットからメモリカードが出てきます。
3. メモリカードをゆっくり取り出す

4. 電池カバーを取り付ける

電池パックと充電機器のお取り扱い

ご利用になる前に

はじめてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

充電時間と利用可能時間の目安

項目	3Gモード	GSMモード
充電時間	ACアダプタ使用時：約180分	
連続待受時間	約406時間	約308時間
連続通話時間	約390分	約310分

- 上記は、電池パック（HTBAF1）装着時の数値です。
- 充電時間は、電源を切った状態で充電した場合の目安です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、通話や操作をせず、電波を正常に送受信できる状態で算出した時間の目安です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波を正常に送受信できる状態で算出した、通話に使用できる時間の目安です。
- 電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境や利用場所の電波状態などにより、利用可能時間が変動することがあります。

電池パックの寿命について

- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。5℃～35℃の温度範囲でご使用ください。
- 指定品以外の充電器で充電しないでください。電池パックを劣化させるだけでなく、発火や発熱などの原因となります。また、完全に充電できない、電源が入らないなどの原因になることがあります。
- 電池パックは消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 電池パック単体で充電することはできません。本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 電源を入れた状態でも充電できますが、充電時間は長くなります。
- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。

● 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると、発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
● 充電中に充電器や電池パック、本機が温かくなることがありますが、異常ではありません。
● 充電器を使用中、テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器を雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

充電時のご注意

● 電池パックや本機、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒などで清掃してからご利用ください。
● 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。電池パックが使用できなくなることがあります。長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。
● 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

電池パックの持ちについて

● 次のような場合は、電池パックの消耗が早まり、電池パックの利用可能時間が短くなります。
  ・本機や電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき
  ・電波の弱い場所での通話や、圏外で待ち受けしているとき
  ・音楽や動画を再生しているとき
  ・カメラ撮影を行っているとき
● 画面の明るさを暗くしたり、不要な通信機能をオフにしておくことで電池パックの消耗を抑えることができます（P.19-4）。

電池レベル表示の確認

● 電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。ディスプレイの電池レベル表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

※ になったら充電することをおすすめします。

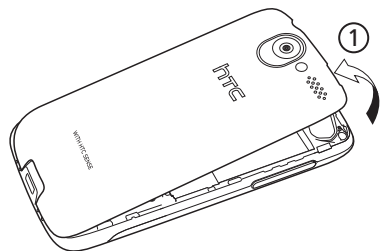
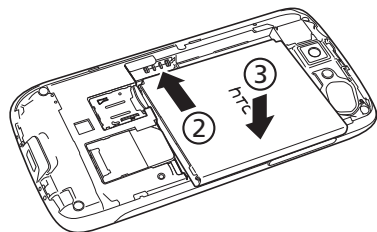
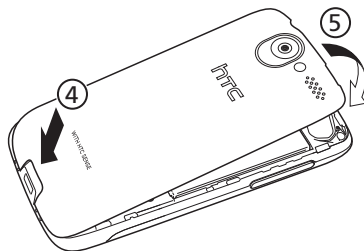
電池が切れたら

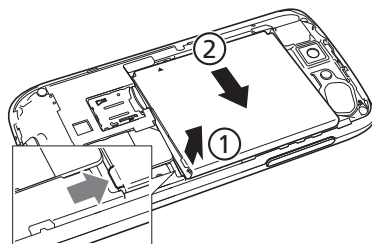
● 電池が残り少なくなると、電池残量が不足している旨のメッセージが表示されます。
● 数回、電池残量不足のメッセージが表示された後、電源が切れます。

電池パックを取り付ける／取り外す

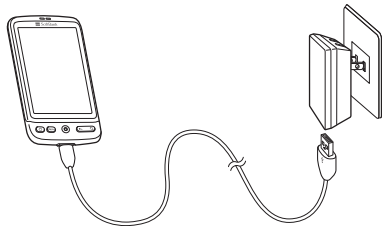
電池パックの取り付け／取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

電池パックの取り付け

1. **電池カバーを取り外す**
   前面のパネルが下向きの状態で、電池カバーの①の部分を指で持ち上げて取り外します。

2. **電池パックを取り付ける**
   電池パックと本機の金属端子が合うように②の方向に差し込んでから、③の方向にはめ込みます。

3. **電池カバーを取り付ける**
   電池カバー下部のツメが本体の溝に合うように④の方向に置き、「カチッ」という音がするまで電池カバー上部を⑤の方向へ押し込みます。

電池パックの取り外し

1. **電池カバーを取り外す**
2. **電池パックを取り外す**
   電池パックを①の方向に持ち上げ、②の方向に取り外します。

3. **電池カバーを取り付ける**

充電する

ACアダプタを使用して充電する

1. ACアダプタ本体にUSBプラグを差し込む
2. 外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込む
3. ACアダプタのACプラグをAC100Vコンセントに差し込む
   充電中は通知ランプがオレンジ色に点灯します。充電が完了すると通知ランプが緑色に点灯します。
4. 充電が完了したら AC アダプタを外す
   ACプラグをACコンセントから抜き、USBケーブルを本機とACアダプタから抜きます。

補足

- パソコンと本機を付属のUSBケーブルで接続して、本機を充電することができます。その場合、以下のことにご注意ください。
  - ・パソコンや本機の電源を切った状態では充電できません。
  - ・パソコンとの接続環境によっては、充電できない場合があります。
  - ・ACアダプタを使用した場合より、充電に時間がかかることがあります。また、接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1. 電源ボタン（ ⏻ ）を押す
   ホーム画面（P.1-13）が表示されます。

補足

- 電源を入れたときにPINコードを入力するように設定することができます（P.18-2）。
- はじめて電源を入れたときは、初期設定ガイダンスが起動します（P.1-11）。画面の指示に従って、各項目を設定してください。これらの設定は後から変更できます。

電源を切る

1. 電源ボタン（ ⏻ ）を１秒以上押す
   携帯電話オプション画面が表示されます。
2. 電源OFF > OK

初期設定

はじめて電源を入れたときは、初期設定ガイダンスが起動し、言語選択、インターネット接続、メールアカウントなどの設定を行います。画面の指示に従って、各項目を設定してください。

● 初期設定は後から変更できます。 をタップして**初期設定**をタップしてください。

1. **English**または**日本語** > **次へ**

2. **インターネット接続の方法を選択 > 次へ**

3. **Wi-Fiネットワークに接続するかどうかを選択 > 次へ**

4. **接続したいアクセスポイントを選択 > 次へ**

■オープンネットワークを選択した場合

> **接続**

■セキュリティで保護されているネットワークを選択した場合

> セキュリティキーを入力 > **接続**

5. **Google位置情報サービスの利用を許可するかどうかを選択 > 次へ**

Google位置情報サービスを許可すると、現在位置を取得し、天気やFootprintsなどのプログラムに利用できます。

6. **設定したいアカウントを選択 > アカウントを設定 > 次へ**

■アカウント設定を省略する場合

> **スキップ**

■Googleアカウントを設定する場合

Googleアカウントをすでにお持ちの方は、**ログイン**をタップして、お持ちのアカウントを入力してください。

アカウントをお持ちでない方は、**新規登録**をタップしてアカウントをすぐに作成することができます。

インターネットメール（POP3／IMAP4）アカウント、Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合はP.7-10を参照してください。

7. **設定したいSNSを選択 > アカウントを設定 > 次へ**

■アカウント設定を省略する場合

> **スキップ**

8. **日付、時刻および時間帯を設定 > 次へ**

日付、時刻および時間帯の設定方法については、P.19-2を参照してください。

■日付、時刻、時間帯設定を省略する場合

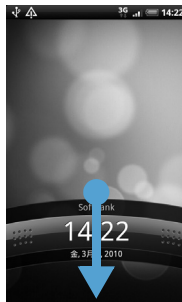
> **スキップ**

9. **メモリカードにデータ、設定をバックアップするかどうかを選択 > OK > 完了**

スリープモード

一定時間、何も操作しないと、バッテリー残量を節約するために画面の表示が消えます。
電源ボタン（⏻）を押して手動でスリープモードに切り替えることもできます。

スリープモードを解除する

電源ボタン（⏻）を押して、ロック解除画面のバーを下方向にスライドすると、スリープモードが解除されます。
スリープモード中に電話がかかってきたときも、バーを下方向にスライドして電話に出ることができます。

補足

- ロック解除画面表示中にメニューボタン（menu）を押してもスリープモードを解除できます。
- 画面ロック解除パターンを作成して、セキュリティをさらに強化することもできます（P.18-3）。

マナーについて

周囲に迷惑がかからないよう、着信音やボタン確認音などの音をスピーカーから出さないように設定することができます。

1. **電源ボタン（⏻）を１秒以上押す**
   携帯電話オプション画面が表示されます。
2. **マナーモード**
   本機が振動し、マナーモードアイコン（ ）がステータスバーに表示されます。

■マナーモードを解除する場合

電源ボタン（⏻）を１秒以上押す ＞ マナーモード

注意

- マナーモードを設定した場合、イヤホンをご使用のときでも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

補足

- マナーモード設定中でも、以下については動作音が鳴ります。
  - ・カメラのシャッター音
  - ・ゲームの音

ホーム画面

ホーム画面は、プログラムを使用するためのスタートポイントです。ホーム画面をカスタマイズして、プログラムアイコンやショートカット、フォルダ、ウィジェットを表示させることができます。

補足

- いずれのプログラムを起動中でも、ホームボタン（⌂）を押すとホーム画面に戻ります。

拡張ホーム画面

ホーム画面は、アイコンやウィジェットなどを追加するために、6つの拡張ホーム画面を用意しています。

ホーム画面を切り替える

ホーム画面を左右になぞると、拡張ホーム画面に切り替えることができます。拡張ホーム画面でホームボタン（⌂）を押すとホーム画面に戻ります。

補足

- オプティカルジョイスティックを左右に動かしても、ホーム画面を切り替えることができます。

ホーム画面でホームボタン（(⌂)）を押すか、画面を指でつまむようにすると、すべてのホーム画面がサムネイルで表示されます。表示したい画面を直接タップして画面を切り替えることもできます。

タッチパネルの使いかた

タッチパネルは指で直接触れて操作します。触れかたによってさまざまな操作を行うことができます。

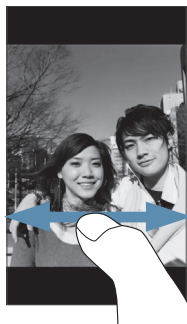
タップ

タップは、タッチパネルを軽くたたく操作です。ホーム画面のアイコンや各種プログラムアイコンなど、目的の項目に触れると、その項目を選択することができます。

長押し

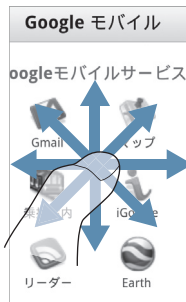
オプションメニューが存在する項目は、項目を長押しするだけでオプションメニューを開くことができます。

項目の切り替え

静止画や動画などの選択時に、上下左右にスライドすると、前後の項目に切り替わります。オプティカルジョイスティックを上下左右に動かしても、項目を切り替えることができます。

スクロール

Webページや連絡先、プログラムの一覧画面など、1画面で表示しきれないときに上下方向にスライドすると、画面が上下にスクロールします。

パン

Webブラウザやオフィスアプリケーションのドキュメント、静止画を拡大表示するときなど、1画面で表示しきれないときにタッチパネルに触れたままドラッグすると、画面を上下左右、斜め方向に移動させることができます。

回転

本機を横向きに回転すると、自動的に画面方向を縦表示から横表示に切り替えることができます。

補足

- 画面方向の自動切り替えをするには、メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ 音とディスプレイの「画面の向き」にチェックを付けてください。
- ホーム画面、設定画面など、表示中の画面によっては、本機の向きを変えても横表示されない場合があります。

ピンチ

Web ページや静止画などの表示中に、画面を2本指で開くと表示を拡大、つまむと表示を縮小することができます。

オプティカルジョイスティックを使う

画面上で項目を選択したり、反転表示するには、オプティカルジョイスティックをなぞるか、押してください。

機能の呼び出しかた

プログラム一覧には本機に搭載されているすべてのプログラムが表示されます。Android マーケットやWebページからインストールして追加したプログラムも、プログラム一覧に表示されます。

プログラムを起動する

1. **またはメニューボタン（menu）＞ すべてのプログラム**

プログラム一覧を閉じるには、 をタップします。

2. **対象のプログラムを選択**

補足

- プログラムを素早く開くには、使用頻度の高いプログラムのアイコンをホーム画面または作成したフォルダに追加してください（P.2-3）。

最近使用したプログラムを起動するには

1. **ホームボタン（⌂）を１秒以上押す**
最近使用したプログラムが６つまで表示されます。

2. **起動するプログラムをタップ**

音量を調節する

着信音量とメディア音量は、個別に調節することができます。

着信音量を調節する

音量大ボタン／音量小ボタンを利用して、着信音量を調整することができます。

1. **音量大ボタン／音量小ボタンを押す**
音量設定画面が表示されます。
着信音量レベルが最小のときに音量小ボタンを一度押すとサイレントモードになり、消音アイコン（）がステータスバーに表示されます。
さらに音量小ボタンを押すと、本機が振動してマナーモードになります。マナーモードアイコン（）がステータスバーに表示されます。

■設定画面で調節する場合

メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ 音とディスプレイ ＞ 着信音の音量 ＞ スライダーで音量を調節 ＞ OK

補足

- 電源ボタン（⏻）を１秒以上押して、携帯電話オプション画面でマナーモードをタップしてもマナーモードを設定できます。

通知音量を調節する

着信音量とは別に通知音の調節を行えます。

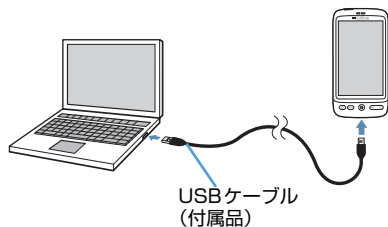
1. **メニューボタン（menu）＞ 設定**
2. **音とディスプレイ ＞ 着信音の音量**
3. **「通知音にも着信音量を使用」のチェックを外す**
4. **スライダーで音量を調節 ＞ OK**

メディア音量を調節する

メディア音量を調節すると、通知音や音楽、動画再生の音量が変わります。
音楽や動画の再生中は、音量大ボタン／音量小ボタンを押してメディア音量を調節してください。
メディア音量は、設定画面でも調節できます。

1. **メニューボタン（menu）＞ 設定**
2. **音とディスプレイ ＞ メディアの音量**
3. **スライダーで音量を調節 ＞ OK**

パソコンとつなぐ

本機とパソコンとの間で情報やデータを同期したり、データをコピーしたりできます。

付属のUSBケーブルをパソコンに接続すると、接続タイプの選択画面が表示されます。接続タイプを選択して完了をタップしてください。

・充電のみ：USB ケーブルを使用して本機を充電します。
・HTC Sync：HTC Syncを利用し、連絡先やカレンダーを同期することができます。
・外部メモリーモード：パソコン上で直接ファイルを本機にコピーしたり、本機からパソコン側にコピーすることができます。

メモリカードをストレージとして使う

本機をUSBケーブルでパソコンと接続し、音楽、画像、その他のファイルをパソコンから本機のメモリカードにコピーすることができます。

1. **付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続する**

2. 外部メモリーモード > 完了

3. **パソコン側で「マイ　コンピュータ」／「コンピュータ」を開き、「リムーバブルディスク」を選択**
本機のメモリカード内のファイルを直接操作することができるようになります。

4. **パソコン上のファイルや本機のファイルのコピーを行う**

暗証番号

交換機用暗証番号

ご契約時の４桁の暗証番号です。オプションサービスを一般電話から操作するときや、Webの有料情報の申し込みの際に使用します。

● 交換機用暗証番号は本機の操作では変更できません。交換機用暗証番号を変更するときは、手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の４桁の暗証番号で、本機で発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。

● 入力を 3 回間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。
詳しくは、お問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。
● 発着信規制用暗証番号は、本機の操作で変更できます（P.3-10）。

注意

- 交換機用暗証番号や発着信規制用暗証番号は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。
- 交換機用暗証番号や発着信規制用暗証番号は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用された場合は、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

個人設定 2

個人設定

個人設定では、利用シーンごとにホーム画面のレイアウトを切り替えたり、お好みの壁紙や着信音を選択することができます。

着信音を変更する

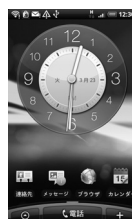
1. メニューボタン（menu）> 設定
2. 個人設定 > 既定の着信音 > 使用したい着信音をタップ
   選択した着信音が再生されます。
3. OK

補足

- インターネットからダウンロードしたり、メモリカードに保存している着信音や楽曲を既定の着信音に設定することもできます（P.15-4）。

シーンを切り替える

勤務先や旅行など利用シーンに合わせて、ホーム画面のウィジェットやプログラムのショートカットなどを簡単に切り替えることができます。

HTC

ソーシャル

ビジネス

オフタイム

トラベル

1. メニューボタン（menu）> シーン
2. 使用するシーンを選択
   既定のHTCシーンをカスタマイズしているときは、現在のシーンを保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。保存する場合は保存をタップし、シーンの名前を入力して完了をタップします。
3. 完了

マイシーンを作成する

HTCシーンをカスタマイズして、マイシーンとして保存することができます。また、ウィジェットやアイコンをすべて削除してオリジナルのレイアウトでマイシーンを作成することもできます。

1. メニューボタン（menu）> シーン
2. 使用するシーンを選択または白紙の画面 > 完了
3. ウィジェットやアイコンを追加 > レイアウトを調整
   ウィジェットやアイコンの追加方法については、P.2-3を参照してください。
   レイアウトの調整方法については、P.2-4を参照してください。
4. 壁紙を選択
   ホーム画面とロック解除画面の壁紙が変更されます。
   壁紙の変更方法については、P.2-3を参照してください。

5. カスタマイズが完了したらメニューボタン（menu）> シーン
6. 現在（未保存）> 保存
7. マイシーンの名前を入力 > 完了

■すでに作成済みのマイシーンを上書きする場合
> 作成済みのマイシーンと同じ名前を入力 > 完了

マイシーンを削除する

1. メニューボタン(menu) > 設定 > 個人設定 > シーン
2. 削除するシーンをタップ
3. メニューボタン（menu）> 削除 > OK

マイシーンの名前を変更する

1. メニューボタン(menu) > 設定 > 個人設定 > シーン
2. 名前を変更するシーンをタップ
3. メニューボタン（menu）> 名前の変更
4. マイシーンの名前を入力 > 完了

壁紙を変更する

ホーム画面とロック解除画面の背景画像を変更できます。あらかじめ登録されている壁紙以外にも、カメラで撮影した写真やアニメーション壁紙（ライブ壁紙）を設定することもできます。

1. メニューボタン（menu）> 壁紙
2. HTC壁紙 > 対象の壁紙を選択 > 壁紙を設定

■撮影した静止画やメモリカードに保存している画像を設定する場合
> ギャラリー > カメラ撮影／すべての写真 > 対象の静止画を選択 > 画像をトリミング > 保存

■アニメーション壁紙を設定する場合
> ライブ壁紙 > 対象のアニメーションを選択 > 壁紙に設定

ホーム画面をカスタマイズする

ウィジェットやアイコンを追加する

1. ＋ をタップまたは画面上の何もない場所で１秒以上タップ
2. ホーム画面に追加したいアイテムを選択

   ウィジェット：カレンダー、音楽、写真フレーム、TwitterなどのSNSなど、大切な情報やさまざまなコンテンツを一目で確認できます。

   プログラム：よく使うプログラムのショートカットをホーム画面に追加できます。

   ショートカット：各種設定、ブックマークに登録したWebページ、お気に入りの連絡先などのショートカットを作成できます。

   フォルダ：新しいフォルダを作成したり、電話番号のある連絡先やスター付きの連絡先を整理するフォルダなどを追加できます。
3. 対象のアイコンまたはウィジェットを選択

4. 選択したウィジェットやアイコンによっては、さらに項目やデザインを選択

表示中のホーム画面に選択したアイテムを追加するスペースがない場合は、アイテムをドラッグして別の画面に移動してください。

補足

- ウィジェット一覧で他の HTC ウィジェットを取得するをタップすると、一覧にウィジェットを追加することができます。
- プログラム一覧でアイコンを 1 秒以上タップしてもホーム画面にショートカットを追加できます。本機が振動したら、アイコンをタップしたままホーム画面の空いている場所にドラッグします。

ウィジェットやアイコンを移動する

1. 対象のアイテムを 1 秒以上タップ
2. 本機が振動したら、アイコンをタップしたままドラッグし、移動したい位置で離す

フォルダ名を変更する

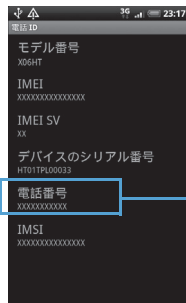
1. 対象のフォルダを選択
2. ウィンドウ上部のタイトルバーを 1 秒以上タップ
3. フォルダ名を入力 ＞ OK

ウィジェットやアイコンを削除する

1. 対象のアイテムを 1 秒以上タップ
2. 本機が振動したら、アイテムをタップしたままドラッグし、削除 までドラッグする
3. アイテムと 削除 が赤色に変わったら離す

電話 3

自分の電話番号を確認する

1. メニューボタン（menu）> 設定
2. この携帯電話について > 電話ID
   オーナー情報画面が表示され、自分の電話番号を確認できます。

通話中の音量を調整する

1. 通話中 > 音量大ボタン／音量小ボタン
   音量大ボタン：音量が大きくなります。
   音量小ボタン：音量が小さくなります。

補足

- 音量を最小にした場合でも、消音にはなりません。

電話をかける

音声電話をかける

1. 電話
   電話番号入力画面が表示されます。
2. ダイヤルキーをタップして相手の電話番号を入力
3. ダイヤル
   入力した電話番号に発信され、相手が応答すると音声通話ができます。
4. 通話が終了したら通話を終了

補足

- 電話番号を入力すると、登録されている連絡先や通話履歴から該当する相手が表示されます。
- 電話番号を6桁以上入力したときに、該当する電話番号が連絡先に登録されていない場合は、連絡先に保存が表示されます。タップすると入力中の電話番号を連絡先に登録できます。

連絡先から電話をかける

電話をかける相手を連絡先に登録しておくと、簡単に電話をかけることができます（P.4-2）。

1. （ホームボタン） > 連絡先

連絡先一覧画面が表示されます。

2. 対象の連絡先を１秒以上タップ > 発信 携帯

連絡先の優先電話番号に自宅や会社などを設定している場合は、「発信 自宅」、「発信 会社」などとオプションメニューに表示されます。

表示されている発信先に発信されます。

■連絡先詳細画面から発信先を選択してかける場合

1．（ホームボタン） > 連絡先

2．対象の連絡先を選択

3．対象の発信先を選択

3. 通話が終了したら通話を終了

通話履歴から電話をかける

不在着信履歴・着信履歴・発信履歴から電話をかけることができます。

1. 電話 > （通話履歴アイコン）

通話履歴の一覧が表示されます。

2. 対象の通話履歴を選択

3. 通話が終了したら通話を終了

■通話履歴を連絡先に登録する場合

> 通話履歴を１秒以上タップ > 連絡先に保存 > 連絡先の保存先を選択

■通話履歴から SMS を送信する場合

> 通話履歴を１秒以上タップ > SMS メッセージの送信

■通話時間を表示する場合

> 通話履歴を１秒以上タップ > 詳しい通話履歴を表示

■通話履歴を削除する場合

> 通話履歴を１秒以上タップ > 通話履歴から削除

スピードダイヤルで電話をかける

ダイヤルキーの数字キーにあらかじめ電話番号を割り当てておくと、その数字キーを長く押すだけで電話をかけることができます。

電話番号をスピードダイヤルに登録する

連絡先に登録されている電話番号をスピードダイヤルに登録します。

1. 電話 > メニューボタン（menu） > スピードダイヤル > 新しい単語を追加

2. 対象の連絡先を選択

3. 対象の電話番号を番号リストから選択

4. 割り当てる数字を場所リストから選択 ＞ 保存

スピードダイヤルで電話をかける

1. 電話 ＞ 電話番号が割り当てられている数字を１秒以上タップ

スピードダイヤルに登録した内容を確認する

スピードダイヤルに登録した内容の確認や変更を行うことができます。

1. 電話 ＞ メニューボタン（menu）＞ スピードダイヤル
スピードダイヤルに登録されている連絡先が表示されます。

■スピードダイヤルを削除する場合
＞ スピードダイヤルから削除する連絡先を１秒以上タップ ＞ 削除

日本国内から国際電話をかける

音声電話をかけたり、受けることができます。サービスの詳細、お客様のお申し込み状況に関しましては、お問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。

1. 電話 ＞ ダイヤルキーの「0」を１秒以上タップ
2. 国番号→相手先番号（先頭の「0」を除く※）の順に入力
※イタリア（国番号：39）にかける場合は、「0」を除かずに入力してください。
3. ダイヤル
国際電話がかかります。
4. 通話が終了したら通話を終了

緊急電話（110／119／118）をかける

本機では発信の制限などを設定しているときでも、以下の操作で緊急電話をかけることができます。

機能	操作
発信規制（P.3-9）	電話 ＞ 緊急電話番号入力 ＞ ダイヤル

注意

- 以下の場合、緊急電話をかけることができません。
  - 機内モードをオンにしているとき（P.19-2）
  - PIN認証中のとき（PINコード入力画面が表示されているとき）（P.20-3）
  - PINロックがかかっているとき（PINロック解除コード入力画面が表示されているとき）（P.20-3）
- 海外で現地の緊急電話をかける場合、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

緊急通報位置通知について

「緊急通報位置通知」とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。

● 本機では受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

補足

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 「緊急通報位置通知」機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入した後にご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」、「118」、「119」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 海外で世界対応ケータイをご利用中は対象外となります。
- 申込料金、通信料は必要ありません。

電話を受ける

1. 音声電話がかかってきたら応答

2. 通話が終了したら通話を終了

■着信を拒否する場合

＞ 拒否

■着信音を消す場合

＞ 音量大ボタン／音量小ボタンを押す

または本機のタッチパネル側を下向きにする

補足

- 電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音を設定できます（P.19-3）。
- マナーモードに設定すると着信を振動でお知らせします（P.1-12）。
- 連絡先に登録していない相手との通話が終了すると、電話番号を連絡先に登録するかどうかの確認メッセージが表示されます。

通話中の操作

音声電話画面の操作

音声電話中は、アイコンをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

アイコン	説明
	こちらの音声を相手に聞こえないようにします。
	スピーカーを使って通話します。
	ダイヤルキーを表示します。ダイヤルキーを非表示にするには をタップします。

アイコン	説明
[icon]	連絡先を表示します。

通話中のメニュー

通話中は、メニューボタン（menu）を押すことにより、以下の機能を利用できます。

アイコン	説明
通話を追加	別の相手に電話をかけます（P.3-9）。
保留	通話を保留にします。
連絡先	連絡先の詳細画面を表示します。
ミュート	こちらの音声を相手に聞こえないようにします。
スピーカー ON	スピーカーを使って通話します。

海外で利用する

世界対応ケータイ

本機は世界対応ケータイです。お使いのソフトバンク携帯電話の電話番号をそのまま海外で利用できます。サービスの詳細、お客様のお申し込み状況に関しましては、お問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。

ネットワークの種類を設定する

必要に応じて海外の通信事業者のネットワークや帯域を選択してください。

1. メニューボタン（menu）> 設定 > 無線とネットワーク > モバイルネットワーク設定 > ネットワークモード
2. ネットワークの種類を選択
   GSM／WCDMA自動：自動的にGSMまたは3Gネットワーク対応の通信事業者間で切り替わります。
   GSMのみ：GSMネットワーク対応の通信事業者間でのみ切り替わります。
   WCDMAのみ：3Gネットワーク対応の通信事業者間でのみ切り替わります。

通信事業者を設定する

ひとつの地域で複数の通信事業者とサービスを提携している場合、本機は自動的に適切な通信事業者に接続します。また、特定の通信事業者を利用したい場合は、手動を選択することもできます。

1. メニューボタン（menu）> 設定 > 無線とネットワーク > モバイルネットワーク設定 > ネットワークオペレーター
2. 自動的に選択またはネットワークを検索

■ネットワークを検索を選択した場合

利用可能なすべてのネットワークを自動的に検索します。検索結果より通信事業者を選択することができます。

注意

- 帯域の変更時にネットワークの種類を変更できないことがあります。この場合、モバイルネットワーク設定でネットワークの選択を自動的に選択に設定することで、ネットワークの種類を変更できるようになります。

海外で電話をかける

● お客様のいる国や地域によってはネットワークの種類や帯域を切り替える必要があります（P.3-6）。

滞在国から日本や滞在国以外に電話をかける

1. 電話 ＞ ダイヤルキーの「0」を1秒以上タップする
「+」が入力されます。
2. 国番号→相手先番号（先頭の「0」を除く※）の順に入力
※イタリア（国番号：39）にかける場合は、「0」を除かずに入力してください。
3. ダイヤル
電話がかかります。

滞在国内の一般電話／携帯電話に電話をかける

日本国内にいるときと同様に、相手の電話番号をダイヤルするだけで電話をかけることができます。国番号を入力したり、相手の市外局番の先頭の「0」を除いたりする必要はありません。

1. 電話 ＞ 相手先番号を入力
2. ダイヤル
電話がかかります。

オプションサービス

サービス名称	内容
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を設定した番号へ転送します。
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けることができます。また、通話相手を切り替えることもできます。
三者通話サービス（グループ通話サービス）※	通話中に他の相手に電話をかけ、最大6人まで同時に通話できます。相手を切り替えながら交互に通話することもできます。
発着信規制サービス	電話をかけたり、電話を受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。

サービス名称	内容
国際電話設定サービス	国際電話発信時に最初に入力する「+」に設定されている国際コードを変更します。

※ 別途お申し込みが必要です。

注意

- 電波の届かない場所では、本機から操作できません。

補足

- サービスの詳細については「ソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp/）」をご覧ください。

転送電話サービス

転送電話サービスを設定する

1. メニューボタン（menu）> 設定 > 通話設定 > 電話の転送 > 転送する条件を選択
2. 以下の項目を設定

転送条件	説明
転送番号	転送先の電話番号を入力します。
呼出時間	呼び出し音を鳴らす時間を設定します。

3. 有効にする

■転送電話サービスを解除する場合

＞ 転送を設定している条件を選択 ＞ 無効にする

注意

- 発着信規制サービスの「すべての着信」または「すべての発信」を設定中は、転送電話サービスはご利用になれません。

補足

- 転送番号の入力時に をタップすると、連絡先に登録されている電話番号を入力できます。

留守番電話サービス

留守番電話サービスを設定する

「転送電話サービス」（P.3-8）で留守番電話サービスセンターに転送する設定を行います。

● 転送番号は「09066517000」を入力します。

メッセージを確認する

1. 新しい伝言メッセージが録音されたことを示す「 」アイコンがディスプレイに表示される
2. 「1416」をダイヤルして留守番電話センターに接続する

   この後は音声ガイダンスの指示に従ってメッセージを確認してください。

補足

- スピードダイヤルの1から発信しても、メッセージを確認できます。

割込通話サービス

ご利用いただく際には、別途お申し込みが必要です。

割込通話サービスを設定する

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ 通話設定 ＞ その他の設定
2. 「割込通話」にチェックを付ける

割込通話に応答する

1. 通話中に電話がかかってくると、割り込み音が鳴る
2. 応答
   後からかけてきた相手と通話することができます。
   最初に通話していた相手は保留状態になります。
   通話したい相手をタップして通話の相手を切り替えます。

補足

- 通話を終了をタップすると、通話中の相手との通話が切れ、保留中の相手との通話が開始されます。

三者通話サービス（グループ通話サービス）

ご利用いただく際には、別途お申し込みが必要です。

● 画面に表示される「電話会議」とは「グループ通話」を指しています。

通話中に別の相手に電話をかける

1. 通話中 ＞ メニューボタン（menu）＞ 通話を追加
2. 電話番号を入力 ＞ ダイヤル
   連絡先をタップして別の相手に電話をかけることもできます。
3. 相手が応答したら
   3人目以降の相手に電話をかけるには操作1～3を繰り返します。

■他の相手を保留にして 1 人の相手とだけ通話する場合

グループ通話中に相手先を選ぶ ＞ 通話したい相手を選ぶ ＞ メニューボタン（menu）＞ グループ通話でグループ通話に戻ります。

補足

- グループ通話中に通話を終了をタップすると、すべての通話が切れます。

発着信規制サービス

制限項目		規制内容
着信規制	すべての着信	すべての電話着信ができません。
	ローミング時の着信	ローミング中は電話着信ができません。
発信規制	すべての発信	緊急電話（110／119／118）を除く、すべての電話発信ができません。
	国際電話発信	すべての国際電話の発信ができません。
	国際ローミング発信	ローミング中は発信ができません。

注意

- 発着信規制サービスの操作には、「発着信規制用暗証番号」（P.1-18）が必要になります。
- 発着信規制用暗証番号の入力を3回間違えると、発着信規制サービスの設定ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。

補足

- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

発着信規制サービスを設定する

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ 通話設定 ＞ 発着信規制
2. 設定する発信／着信規制を選択
3. 発着信規制用暗証番号を入力 ＞ OK

注意

- 転送電話サービス（P.3-8）をご利用中は、発着信規制サービスの「すべての発信」または「すべての着信」を設定することはできません。

補足

- 発着信規制サービスの設定でSMSは規制されません。SMSの発着信規制の設定については、「SMSの発着信規制について」（P.20-8）を参照してください。

発信者番号通知サービス

発信者番号通知サービスを設定する

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ 通話設定 ＞ その他の設定 ＞ 発信者番号
2. 番号を非通知または番号を通知

■ネットワークの設定に従う場合

＞ ネットワークのデフォルト

補足

- 本設定の内容にかかわらず、電話番号の前に以下の数字を付けてダイヤルすることで、発信者番号を通知する／しないを設定できます。
  - 相手にお客様の番号を通知する場合：相手の電話番号の前に「186」を付ける
  - 相手にお客様の番号を通知しない場合：相手の電話番号の前に「184」を付ける

4 連絡先

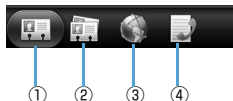
連絡先について

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手を連絡先に登録しておくと、簡単な操作で発信／メール送信できます。

- Web上のGoogleアカウントやFacebookアカウントと同期することもできます。
- 本体メモリの他に、以下から連絡先をインポートしたり同期することができます。
  - Gmailメール連絡先からインポート（P.5-2）
  - Exchange Serverアカウントと同期（P.5-2）
  - HTC Syncを使用してパソコンと同期（P.5-5）
  - USIMカードからインポート／エクスポート（P.4-5）
  - Facebookアカウントと同期
- 本機に登録できる連絡先の件数は、本体メモリの空き容量によって異なります。USIMカードに登録できる件数は、USIMカードの種別によって異なります。

連絡先の使いかた

連絡先一覧

連絡先一覧には、以下の4つのタブが表示されます。タブを直接タップするか、現在表示されているタブをドラッグして、使用するタブのところで離します。

①	すべてタブ	本体メモリ、USIMカード、Googleアカウント、Facebookアカウント、Exchange ActiveSyncアカウントすべての連絡先を表示します。また、自分のプロフィール（マイ連絡先カード）も編集できます。
②	グループタブ	連絡先のグループを表示します。新しいグループを作成したり、グループの全員にまとめてSMSやメールを送信することができます。
③	オンラインディレクトリタブ	Exchange ActiveSync ServerやFacebookのアカウントなど、オンラインの連絡先を本機にコピーすることができます。
④	通話履歴タブ	発着信履歴や不在着信の履歴一覧を表示します。

新しい連絡先を登録する

1. [ホーム] ＞ 連絡先 ＞ 連絡先の追加
2. **連絡先の種類を選択**
   本体：本体メモリに登録します。
   USIM：USIMカードに登録します。
   Google：Googleアカウントと同期します。
3. **各項目を入力 ＞** 保存

連絡先の内容を確認する

連絡先の表示方法を変更する

1. [ホーム] ＞ 連絡先
   連絡先一覧画面が表示されます。
2. **メニューボタン（MENU）＞** 表示 **＞ 表示する連絡先を選択 ＞** 完了

連絡先一覧画面の見かた

①	新しい連絡先を登録
②	マイ連絡先カードを表示／編集
③	USIMカード連絡先
④	不在着信あり、新着SMS／メールあり、Facebookプロファイル更新あり、Facebookイベントあり、Facebook／Flickr写真追加
⑤	顔写真をタップするとクイックアクセスアイコンを表示
⑥	Facebook連絡先、Facebookアカウントにリンク
⑦	クイックアクセスアイコン アイコンをタップして、電話発信やメール作成などを素早く操作できます。表示されるアイコンは連絡先の登録内容によって異なります。

連絡先を検索する

連絡先を簡単に検索することができます。

1. ＞ 連絡先 ＞ 検索ボタン（ ）

2. 検索文字列入力欄に検索する名前（姓／名）、または勤務先の最初の文字を入力

補足

- 絞り込んだ内容を元に戻す場合は、検索文字列入力欄の文字を消去してください。

連絡先の詳細内容を確認する

1. ＞ 連絡先

2. 対象の連絡先を選択

連絡先詳細画面が表示されます。

連絡先詳細画面では、画面下部に以下のタブが表示されます。

①	詳細タブ	表示している連絡先の登録情報を表示します。操作欄の項目をタップして、簡単に電話発信やSMS／メール送信を行えます。
②	メッセージタブ	表示している連絡先からのSMSを確認したり、新規SMSを送信できます。
③	メールタブ	表示している連絡先からのメールを確認したり、新規メールを送信できます。
④	アップデートとイベントタブ	表示している連絡先のFacebookステータスや最新のイベント、Flickrについ写真がアップロードされたかを確認できます。画面右上にあるリンクをタップすると、Facebookにログインできます。

⑤	写真タブ	表示している連絡先のFacebookおよびFlickrの写真アルバムを表示します。画面右上にあるリンクをタップすると、Facebook／Flickrにログインできます。
⑥	通話履歴タブ	表示している連絡先の発着信履歴や不在着信の履歴一覧を表示します。

連絡先の内容を変更する

1. [ホームボタン] ＞ 連絡先
2. 対象の連絡先を選択 ＞ 編集
3. それぞれの値を編集 ＞ 保存

連絡先を削除する

1. [ホームボタン] ＞ 連絡先
2. 対象の連絡先を選択
3. メニューボタン（MENU）＞ 削除 ＞ OK

連絡先からメールを作成する

SMSを作成する

1. [ホームボタン] ＞ 連絡先
2. 対象の連絡先を選択 ＞ メッセージの送信
   「携帯」に登録されている電話番号を宛先にしたSMSを作成します。
3. 本文などを入力し送信
   詳細については、「SMSを作成する」（P.7-2）を参照してください。

補足

- 連絡先一覧画面からクイックアクセスアイコンをタップしても、SMSを作成することができます（P.4-3）。

インターネットメールを作成する

1. [ホームボタン] ＞ 連絡先
2. 対象の連絡先を選択 ＞ メールの送信
3. 作成するメールの種類を選択
4. 件名や本文などを入力し送信
   詳細については、「インターネットメールを作成する」（P.7-10）を参照してください。

連絡先を送信する

連絡先をBluetooth®通信で送信する

● Bluetooth® 通信機能の設定についてはP.12-2を参照してください。

1. [ホームボタン] ＞ 連絡先
2. 対象の連絡先を選択
3. メニューボタン（MENU）＞ 連絡先を送信 ＞ 連絡先をvCardとして送信でBluetooh ＞ 送信するデータを選択 ＞ 送信
   送信先の検索が始まります。
   以降は、送信先の設定などにより手順が異なるため、画面の指示に従って操作してください。

連絡先をメールで送信する

1. [ホームボタン] ＞ 連絡先
2. 対象の連絡先を選択
3. メニューボタン（MENU）＞ 連絡先を送信 ＞ 送信するデータを選択 ＞ 送信

4. **宛先や件名、本文などを入力しメール送信**
詳細については、「インターネットメールを作成する」（P.7-10）を参照してください。

USIMカード連絡先

USIMカードに連絡先を登録することができます。

USIMカードに連絡先を追加する

1. [ホームボタン] > 連絡先 > 連絡先の追加
2. 連絡先の種類でUSIM
3. 各項目を入力 > 保存

USIMカードの連絡先をインポートする

1. [ホームボタン] > 連絡先 > メニューボタン（MENU）> インポート／エクスポート
2. USIMカードからインポート > インポート先を選択 > 連絡先を選択
3. 保存

連絡先をメモリカードにバックアップする

1. [ホームボタン] > 連絡先 > メニューボタン（MENU）> インポート／エクスポート
2. SDカードにエクスポート > バックアップする連絡先を選択
3. OK

連絡先をインポートする

1. [ホームボタン] > 連絡先 > メニューボタン（MENU）> インポート／エクスポート
2. SDカードからインポート > インポート先を選択
3. OK

連絡先グループを使う

連絡先を「友達」や「同僚」などにグループ別に分類しておけば、簡単にSMSやメールをグループ全員に送信できます。またこれらのグループを、Googleアカウントと同期することもできます。

グループを追加する

1. [ホームボタン] > 連絡先 > グループタブ
2. グループを追加 > グループ名を入力
3. 連絡先をグループに追加 > 連絡先を選択 > 保存 > 保存

グループを削除する

1. [ホームボタン] > 連絡先 > グループタブ
2. 削除するグループを 1 秒以上タップ > グループを削除 > はい

補足

- お買い上げ時に登録されているグループを削除することはできません。

グループから連絡先を編集する

1. > 連絡先 > グループタブ
2. 編集するグループを 1 秒以上タップ > グループを編集
3. 以下の編集を行う
   ・グループ名をタップして新しいグループ名を入力します。
   ・グループ名の左側にある写真アイコンをタップすると、お好みの静止画をグループアイコンに設定できます。
   ・連絡先を追加するには、連絡先をグループに追加をタップして連絡先を選択し、保存をタップします。
   ・連絡先を削除するには、連絡先右端の をタップします。
4. 保存

補足

- お買い上げ時に登録されているグループのグループ名を変更することはできません。

グループ全員にSMS ／メールを送信する

1. > 連絡先 > グループタブ
2. SMS ／メールを送信するグループを選択 > グループアクション（ ）タブ
3. グループメッセージを送信またはグループメールを送信
   以降の操作は、「SMSを作成する」（P.7-2）、「インターネットメールを作成する」（P.7-10）を参照してください。

5 オンラインアカウントの管理

SNSアカウント

本機では、GoogleやMicrosoft Exchange ActiveSyncだけでなく、FacebookやTwitter、FlickrなどのSNSとの情報の同期やアップデートを行うことができます。
同期できる情報は以下のとおりです。

・Gmailメール、Microsoft Exchange ActiveSyncのメール
・GoogleおよびMicrosoft Exchange ActiveSyncの連絡先や、Facebookの友人の連絡先情報
・GoogleやMicrosoft Exchange ActiveSyncアカウントの予定
・友人や自分の Facebook や Twitter などの SNS 上で共有するステータスの更新とリンクの情報
・FlickrやFacebookへの写真のアップロード

SNSアカウントを追加する

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ アカウントと同期 ＞ アカウントを追加
2. 対象のアカウントを選択
以降は、画面の指示に従って操作してください。
アカウントが追加され、データの同期が開始されます。

Googleアカウントと同期する

Googleアカウントにログインすると、本機とWebの間でGmailのメールとGoogleの連絡先や、カレンダーを同期させることができます。
また、GoogleトークやAndroidマーケットなどのGoogleアプリケーションを使用するには、Googleアカウントにログインする必要があります。
本機で複数のGoogleアカウントを使用することができます。ただし、2つ目以降のGoogleアカウントは、Gmailのメールや連絡先を同期することのみ可能です。
その他のGoogleサービスは、最初のGoogleアカウントを使用します。

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ アカウントと同期 ＞ アカウントを追加
2. Google
以降は、画面の指示に従って操作してください。

Microsoft Exchange ActiveSyncと同期する

本機上にはMicrosoft Exchange ActiveSyncのアカウントを1つだけ追加することができます。
Microsoft Exchange Server 2003のService Pack2（SP2）以降のバージョンとの同期が可能です。

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ アカウントと同期 ＞ アカウントを追加
2. Exchange ActiveSync
3. アカウントの詳細を入力 ＞ 次へ
4. 同期させる情報の種類を選択 ＞ 設定完了

アカウントを管理する

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ アカウントと同期
バックグラウンドデータ：アプリケーションがいつでもアカウント情報を送受信するかどうかを設定します。
自動的に同期：自動的にデータを同期するかどうかを設定します。

アカウント設定を変更する

同期頻度や同期する情報の種類、通知方法、アカウント情報の表示形式などの設定を変更することができます。

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ アカウントと同期

2. 対象のアカウントを選択 ＞ アカウント設定を変更

アカウントを手動で同期する

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ アカウントと同期

2. 対象のアカウントを選択 ＞ 今すぐ同期

■すべてのアカウントを手動で同期する場合

＞ すべてを同期

アカウントを削除する

本機からオンラインサービスのアカウントや、メッセージ、連絡先、設定情報などを削除できます。アカウントを削除してもオンラインサービス上の情報は削除されません。

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ アカウントと同期

2. 対象のアカウントを選択 ＞ アカウントを削除

補足

- 最初に本機から設定したGoogleアカウントなどいくつかのアカウントは、本機をリセットしないと削除することはできません。

Googleアカウント

本機の初回起動時には、Googleアカウントを設定する初期設定ウィザードが表示されます。Googleアカウントをすでにお持ちの方は、お持ちのアカウントを入力してください。アカウントをお持ちでない方は、本機からアカウントをすぐに作成することができます。Googleアカウントの作成については、「初期設定」（P.1-11）を参照してください。

補足

- Googleアカウントの設定を初期設定時にスキップした場合は、Gmailなどの Googleサービスの初回利用時に設定することができます。

HTC Syncの利用

HTC Syncは、本機の連絡先やカレンダーなどを、お使いのパソコンと連携して操作するためのソフトウェアです。お買い上げ時の状態へリセットするときや、ソフトウェア（ROM）のアップグレードを行う前に、HTC Sync を使用してパソコンにバックアップし、同期させることができます。

さらに以下の機能が利用できます。

・コンピュータ上にAndroid マーケット以外で購入したアプリケーションがある場合、HTC Sync を使用してコンピュータから本機にインストールすることができます。

・連絡先とカレンダーデータを修復できます。

パソコンにHTC Syncをインストールする

HTC Syncインストーラをダウンロードして、パソコンにインストールします。

●HTC Syncは、当社Webサイト「http://www.softbank.jp/mb/r/support/x06ht/」よりダウンロードいただけます。

●HTC Syncは、Microsoft Windows® 7、Microsoft Windows® Vistaおよび Microsoft Windows® XPにインストールすることができます。

● HTC Syncをインストールする前に必ず付属のメモリカードを取り付けてください。

補足

- HTC Syncを使用して本機との同期を行うには、USB 2.0が搭載されたコンピュータが必要です。
- HTC Syncのインストールを開始する前にパソコンで実行中のプログラムをすべて終了し、セキュリティソフトを一時的に無効にしてください。

1. **パソコン側でダウンロードした「HTCSync.exe」をダブルクリックする**

2. **画面の指示に従ってインストールを行う**
「InstallShieldウィザードを完了しました」という画面で「完了」をクリックすると、インストールは終了です。パソコンのタスクバーにHTC Syncのアイコンが表示されます。

HTC Syncに本機を認識させる

1. **パソコン側で「スタート」→「HTC」→「HTC Sync」をクリック**

2. **付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続する**

3. **本機側の接続タイプ選択画面でHTC Sync > 完了**
本機に通知アイコン（ ）が表示され、パソコン側では同期設定ウィザードが起動します。
パソコン側で同期設定ウィザードが起動しない場合は、HTC Sync画面の「いますぐ同期する」をクリックします。

4. **パソコン側で、画面の指示に従って設定を行う**
設定が完了すると、パソコンのタスクバーにHTC Syncのアイコンが緑色で表示されます。

同期の設定

パソコン上のOutlook連絡先やカレンダーの予定をHTC Syncを使って本機と同期させることができます。Outlook Expressを使用している場合は、連絡先のみを本機と同期させることができます。

1. **パソコンのタスクバーのHTC Syncアイコンが緑色（ ）になっていることを確認**

2. **をダブルクリックする**

3. **「ファイル」→「同期マネージャ」→「設定」→「次へ」をクリック**

4. **同期するアプリケーションやデータを選択**

5. **「完了」をクリック**
同期が開始されます。

6. **同期が完了したら「閉じる」をクリック**

その他の同期オプションの設定

HTC Syncでは、同期スケジュール設定、本機とパソコンのデータ競合時の動作などを設定できます。

1. **パソコンのタスクバーのHTC Syncアイコンが緑色（ ）になっていることを確認**

2. をダブルクリックする
3. 「ファイル」→「同期マネージャ」→「設定」
4. 「手動設定」をクリック
5. オプション設定を行う→「OK」をクリック

パソコンと同期する

パソコンと自動で同期する

パソコンと自動同期するには、事前に以下の設定が必要です。

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ アプリケーション ＞ 開発
2. 「USBデバッグ」がチェックされていることを確認

パソコンと手動で同期する

1. 付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続する
2. 本機側の接続タイプ選択画面で HTC Sync ＞ 完了
3. パソコンのタスクバーのHTC Syncアイコンが緑色（）になっていることを確認
4. パソコン側の をダブルクリックする
5. 「同期」をクリック

4. 本機側で今すぐ同期

パソコンから携帯電話にアプリケーションをインストールする

アプリケーション（.apk形式）をHTC Syncを使用して本機にインストールすることができます。

注意

- アプリケーションの使用に関する責任は当社では一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ アプリケーション ＞ 「不明な提供先」にチェックを付ける ＞ OK
2. 付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続する
3. 本機側の接続タイプ選択画面で HTC Sync ＞ 完了
4. パソコン側の をダブルクリックする
5. 「アプリケーション インストーラ」をクリック
6. 「Android OS Installerファイル(apk)」がチェックされていることを確認→「OK」をクリック
7. 「次へ」→「参照」
8. アプリケーションを選択→「開く」をクリック
9. 「次へ」をクリック
10. インストールが完了したら「完了」をクリック

ソーシャルネットワーキングサービス（SNS） 6

Facebook

HTC Sense Facebook

本機でFacebookの更新を表示することができます。HTC Sense Facebookにサインインすることにより、Facebookの連絡先とその連絡先の詳細情報が連絡先にダウンロードされ、Facebookのフォトアルバムを写真で、Facebookのステータス更新はFriend Streamで表示することができます。

連絡先

Friend Stream

写真

Android Facebook

Facebookを使用して、友達と気軽にコミュニケーションを取れます。パソコン上のFacebookのほとんどの機能を利用できます。

補足

- 複数の Facebook のアカウントをお持ちの場合、別のFacebookアカウントを使用してログインすることができます。

Facebookを使用する

1. ［ホーム］ > Facebook

   Facebookをはじめて起動したときは、画面の指示に従ってログインしてください。

   ニュースフィード画面でメニューボタン（menu）を押してホームをタップすると、他の機能を利用できます。

補足

- Facebookのホーム画面でメニューボタン（menu）を押して設定をタップすると、更新間隔やお知らせの設定ができます。
- 画面によっては、画面を1秒以上タップしてオプションメニューを表示できます。

Facebookでは、以下のことができます。

- コメントを共有したり、他の人のステータス更新をチェックできます。
- 友達リストを閲覧して掲示板に書き込むことができます。
- 友達の投稿にコメントしたり、それを引用したりできます。
- 友達のフォトアルバムなどの個人情報を閲覧できます。
- Facebookからのお知らせを確認できます。
- 静止画を撮影し、自分のFacebookアカウントに直接アップロードできます。

HTC Sense FacebookとAndroid Facebookの相違点

HTC Sense Facebookは、連絡先、Friend Stream、写真を統合するツールです。自分のFacebookアカウントの各種情報を更新することで各ツールに更新情報が反映されます。Android Facebookは、パソコン上でFacebookを使用しているのと同じように自分のアカウントにアクセスすることができます。Android Facebookでは、友達を追加したり、写真にキャプション（文字）を添えてアップロードすることができます。

- 2つのアプリケーションで、同じログイン情報を共有することはありません。
  HTC Sense FacebookへログインしてもAndroid Facebookにはログインしません。その逆の場合も同様です。両方に同じFacebookのアカウントを使用する場合、同じログイン情報を両方で使用してログインする必要があります。

Twitter

Peepは「つぶやく」ことができるTwitterクライアントです。つぶやきを送信したり、他人のつぶやきを受信したり、フォローするユーザーを検索することができます。

1. ［ボタン］ ＞ Peep
Twitterをはじめて起動したときは、画面の指示に従ってログインしてください。

Peep画面

①	タップするとTwitterユーザーのプロファイルを表示します。このTwitterユーザーからのすべてのつぶやきを表示できます。
②	タップすると送信したいつぶやきを入力できます。
③	タブを１秒以上タップすると返信、お気に入りに追加などのオプションメニューを表示できます。
④	あなたがフォローしているユーザーとあなたのつぶやきをすべて表示します。
⑤	ユーザー名が「@［ユーザー名］」のすべてのつぶやきを表示します。
⑥	あなたが送信／受信したすべてのダイレクトメッセージを表示します。
⑦	お気に入りとしてマークされたつぶやきを表示します。

つぶやきを送信する

1. ［ボタン］ ＞ Peep

2. すべてのツイートタブ ＞「いまどうしてる？」（テキスト入力欄）

3. つぶやきを入力 ＞ 更新

■Tweetのアイコン画像を設定する場合
＞ ［アイコン］ ＞ カメラから／アルバムから

■現在地の位置情報をTweetに挿入する場合
＞ ［アイコン］ ＞ 現在地情報を選択 ＞ 更新

フォローするユーザーを検索する

1. [ホームボタン] > Peep
2. 検索ボタン（[検索]）
3. キーワードを入力 > [検索]
4. 対象のユーザーまたはつぶやきを選択
5. メニューボタン（menu）>フォローする

■フォローを解除する場合

> すべてのツイートタブ > 対象のユーザー名を選択 > メニューボタン（menu）> フォローしない

ダイレクトメッセージを送信する

ダイレクトメッセージはフォローしているユーザーのみに送信できます。

1. [ホームボタン] > Peep
2. メニューボタン（menu）> 新しいメッセージ
3. 宛先を入力 > メッセージを入力 > 更新

Twitterを設定する

1. [ホームボタン] > Peep
2. メニューボタン（menu）> その他 > 設定
3. 以下の項目を設定する

項目	説明
アカウント設定	Twitterアカウントからサインアウトします。
一般設定	フォローしているユーザーのスクリーン名と本名のどちらを表示するかを選択したり、キャッシュを消去します。
送受信	更新頻度と一度にダウンロードするつぶやきの数を設定します。
サービス	あなたのアイコン画像や位置情報などを設定します。
通知設定	通知のオン／オフや通知方法などを設定します。

Friend Stream

Friend Streamを利用すると、FacebookやTwitterなどのSNSアカウントの最新ステータスをまとめて更新、確認できます。

1. [ホームボタン] > Friend Stream

■SNS アカウントにサインインしていない場合

>メニューボタン（menu）> 設定 > アカウントと同期 > 対象のSNSのアカウントを設定

Friend Stream画面

あなたがサインインしているアカウントの更新情報のみ表示されます。

メニューボタン（menu）を押し、設定 > アップデートを表示をタップしてFriend Streamに表示される更新情報のフィルタリングができます。

①	更新ステータスを入力して送信します。
②	タップするとつぶやきを読んだり、Facebookにコメントを投稿したり、Flickrのアルバムを見たりできます。
③	ログインしているSNSのアカウントからすべてのメッセージを表示します。
④	FacebookとTwitterからの更新ステータスを表示します。
⑤	FacebookとFlickrから更新された写真を表示します
⑥	Facebookに投稿されたリンクを表示します。

ステータスを更新する

1. ＞ Friend Stream
2. すべてのアップデートタブ ＞「今何している？」（テキスト入力欄）
3. ＞ 対象のアカウントを選択 ＞ 完了
4. 共有

Googleトーク

Googleトークは、Googleのインスタントメッセージサービスです。
携帯電話やWebサイトでGoogleトークを利用している他の利用者とコミュニケーションをすることができます。

Googleトークにログインする

1. ＞ トーク ＞ 次へ ＞ ログイン
2. Googleアカウントを入力 ＞ パスワードを入力する ＞ ログイン

チャットする

チャットを開始する

1. ＞ トーク
2. 友達を選択 ＞ テキストを入力 ＞ 送信

チャットの招待を受け入れる

友達からGoogleトークでメッセージが送られると、チャットの通知を受信します。次のいずれかの操作を行います。

・友だちリストでは、招待状を送ってきた友達をタップします。

・通知パネルを開いてチャット通知をタップします。

チャット中の会話を切り替える

複数のチャットを実行中のとき、会話を切り替えることができます。

1. チャット画面または友だちリスト > メニューボタン（menu）> チャット相手の切替
2. パネルが開いたら、チャットしたいメンバーを選択

チャットを終了する

1. > トーク
2. メニューボタン（menu）> その他 > ログアウト

オンラインステータスとメッセージを変更する

1. > トーク
2. 友だちリスト > オンラインステータスアイコン（）> オンラインステータスを選択
3. 「ステータスメッセージ」>ステータスメッセージを入力 >

メンバーの管理

新しいメンバーを追加する

Googleアカウントを持っているメンバーを追加できます。

1. > トーク
2. 友だちリスト > メニューボタン（menu）> 友だちを追加
3. 追加したいメンバーの Google トークインスタントメッセージIDまたはGoogleアカウントを入力
4. 招待状を送信

招待状を表示／承認する

1. > トーク
2. 友だちリスト > メニューボタン（menu）> 招待
送信済みまたは受信済みのすべてのチャット招待状が、返信待ちの招待状画面にリスト表示されます。
3. 返信待ちの招待状を選択 > 承諾またはキャンセル

補足

- 招待状を受信した相手が承認すると、返信待ちの招待状リストから該当する招待状が削除されます。
- 未承認の招待状の表示を本機から削除したい場合は、パソコンからGoogleアカウントにログインし、削除を行ってください。

メンバーをよく使う連絡先に追加する

メンバーをよく使う連絡先に追加して「よく使う連絡先」友だちリスト中に常に表示されるように設定することができます。

1. > トーク
2. 友だちリスト > メンバーの名前を1秒以上タップ
3. よく使う連絡先に追加

メンバーをブロックする

メンバーをブロックして、そのメンバーから送信されるメッセージをブロックできます。ブロックすると友だちリストからも削除されます。

1. > トーク
2. 友だちリスト > ブロックしたいメンバーを指定

3. **メンバーの名前を1秒以上タップ ＞ ユーザーをブロック**
ブロックされたメンバーは友だちリストから削除され、ブロックした友だちリストに追加されます。

補足

- ブロックを解除するには、友だちリストでメニューボタン（menu）を押し、ブロック中をタップします。ブロックした友だちリストで、ブロックを解除したいメンバーの名前をタップします。ブロック解除の確認をしたらOKをタップします。

Googleトーク設定を変更する

新着インスタントメッセージの通知方法を設定する

新着インスタントメッセージを受信するたびに着信音を鳴らしたり、バイブレータ、ステータスバーに通知アイコンを表示させたりすることができます。

1. ＞ **トーク**

2. **メニューボタン（menu）＞ その他 ＞ 設定**

3. **以下の操作を行う**

- チャットの通知にチェックを付けると、新着メッセージを受信したときにステータスバーに通知アイコン（ ）が表示されます。
- 着信音を選択をタップして着信音を選択すると、新着メッセージを受信したときに着信音で通知を受けることができます。着信音を選択するとサンプルが短く再生されます。
新着メッセージを受信したときに着信音を鳴らしたくない場合はサイレントを選択します。
- バイブレーションにチェックを付けると、新着メッセージを受信したときにバイブレータで通知を受けることができます。

メンバーが使用している携帯電話の種別を確認する

Googleトークのチャットでメンバーが使用している携帯電話の種別が確認できます。友だちリストでメンバーの名前の右側に表示される画像を確認します。

1. ＞ **トーク**

2. **友だちリスト ＞ メニューボタン（menu）＞ その他 ＞ 設定**

3. **「モバイルインジケーター」にチェックを付ける**

Androidを搭載した電話からチャットしていることを示します。

自動でログインする

電源を入れたときにGoogleトークアカウントに自動でログインすることができます。

1. ＞ **トーク**

2. **友だちリスト ＞ メニューボタン（menu）＞ その他 ＞ 設定**

3. **「自動ログイン」にチェックを付ける**

メール 7

メールの種類について

SMS

ソフトバンク携帯電話どうしで、電話番号を宛先として、短いメッセージを送受信できます。

補足

- 1つのメッセージにつき、全角で70文字（すべて半角英数字で入力した場合は140文字）まで送信できます。それ以上の文字数のメッセージは、自動的に分割されて送信されます。
- ファイルを添付することはできません。

Gmailメール

Gmail／Googleメールは、GoogleのWebメールサービスです。Gmailメールは、はじめて電源を入れたとき、またはGmailの初回設定時に設定できます。同期設定によって、本機のGmailメールとサーバー上のGmailを自動で同期することができます（P.5-2）。

インターネットメール（POP3／IMAP4）

パソコンで使用されているインターネットメール（POP3／IMAP4）に対応しており、会社や自宅のパソコンと同じメールを送受信することができます。また、パソコンと同じように添付ファイルにも対応しています。

● インターネットメールを使用するには、事前にメールアカウントを設定する必要があります（P.7-10）。

● 本機のインターネットメールで送受信を行うと、本機とメールサーバーとで同期が行われ、「受信トレイ」や「削除済みアイテム」をメールサーバーと同じ状態に保つように動作します。

注意

- 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定することで、擬似的にメールを自動受信できますが、サーバーに接続するたびに料金がかかる場合があります。
- インターネットメールは、送信するときもメールサーバーとの同期が必要です。

SMSを作成する

SMSを新規に作成して送信します。

1. > メッセージ

SMS一覧画面が表示されます。

2. 新規作成

SMS作成画面が表示されます。

3. 「To」(宛先入力欄)をタップ > 宛先を入力

■連絡先から宛先を入力する場合

> [icon] > 送信する宛先にチェックを付ける > OK

複数の宛先を入力した場合は、宛先入力欄をタップすると、入力した電話番号や連絡先がすべて表示されます。これらをタップすると、宛先の編集や削除、電話発信、連絡先の確認ができます。

4. 「本文入力」(本文入力欄)をタップ > 本文を入力

■絵文字を入力する場合

> メニューボタン(menu) > 絵文字を挿入 > 絵文字を選択

■定型文を挿入する場合

> メニューボタン(menu) > クイックテキスト > 定型文を選択

5. 送信

SMSが送信されます。

■SMSの作成を中止する場合

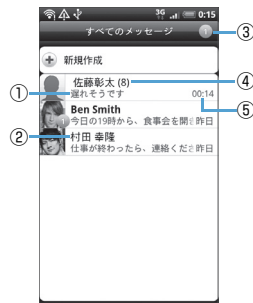
> SMS作成画面 > メニューボタン(menu) > 破棄 > OK

補足

- SMSを作成中に画面を切り替えたSMSは下書きフォルダに、送信できなかったSMSは未配信フォルダに保存されます。下書きフォルダ/未配信フォルダは、SMS一覧画面でメニューボタン(menu)を押し、下書きまたは未配信をタップして表示できます。

SMSを受信する

SMS画面の見かた

■SMS一覧画面

■SMS詳細画面

①	本文
②	送信元
③	未読SMS件数
④	送受信SMS件数
⑤	受信日時／送信日時
⑥	送信元
⑦	自分のSMS
⑧	USIMカードにコピーしているSMS

SMSを読む

新着SMSを確認する

1. SMSを受信すると、SMSを受信したことを示すメッセージが表示される

2. > 新着SMSを選択
SMS詳細画面が表示されます。

補足

- 受信したことを示すメッセージは、何も操作しないまましばらくすると自動的に消えます。

SMSの内容を確認する

1. > メッセージ
2. 対象のSMSを選択
SMS詳細画面が表示されます。

SMS一覧画面のメニュー

SMS一覧画面、およびSMS詳細画面では、SMSを１秒以上タップすることにより、以下の機能を利用できます。

■SMS一覧画面

項目	説明
表示	SMS詳細画面を表示します。
削除	SMSを削除します（P.7-5）。
返信	SMSを返信／転送します（P.7-5）。
転送	
ダイヤル	送信元の電話番号に発信します。
連絡先を開く	連絡先詳細画面を表示します。

■SMS詳細画面

項目	説明
ダイヤル	送信元の電話番号に発信します。

項目	説明
連絡先を開く	連絡先詳細画面を表示します。
転送	SMSを転送します（P.7-5）。
メッセージの詳細を表示	SMSの詳細情報を確認します。
メッセージを削除	SMSを削除します。
USIMにコピー	SMSをUSIMカードにコピーします（P.7-5）。
メッセージをロック	SMSを削除できないように保護します。

SMSを返信／転送する

1. **SMS一覧画面 ＞ 対象のSMSを1秒以上タップ**
2. **返信**
3. **本文を入力 ＞ 送信**

■転送する場合

＞ SMS一覧画面 ＞ 対象のSMSを1秒以上タップ ＞ 転送 ＞ 宛先を入力 ＞ 本文を入力 ＞ 送信

補足

• 受信したSMSの詳細画面からも返信することができます。

SMSを管理する

SMSを削除する

1. **SMS一覧画面 ＞ メニューボタン（menu）＞ 削除 ＞ 対象のスレッドにチェックを付ける**
2. **削除**
   選択したスレッド内すべてのSMSが削除されます。

SMSをUSIMカードにコピーする

受信したSMSをUSIMカードにコピーすることができます。

1. **SMS詳細画面 ＞ 対象のSMSを1秒以上タップ**
2. **USIMにコピー ＞ OK**

■USIMカードから本体メモリにコピーする場合

＞ 対象のSMSを1秒以上タップ ＞ 携帯電話のメモリにコピー ＞ OK

SMSのオプション設定

SMSに関する全般的な設定を行います。

1. **SMS一覧画面 ＞** メニューボタン（menu）＞ 設定
2. **以下の項目を設定**

項目	説明	
古いメッセージを削除	テキストメッセージの制限件数で設定した制限件数に達した場合、古いSMSを自動的に削除するかどうかを設定します。	
	テキストメッセージの制限件数	保存するSMSスレッドの制限件数を設定します。
受取確認通知	送信SMSの受取確認を毎回要求するよう設定します。	
サービスセンター	サービスセンターの番号を確認・変更できます。	
USIMカードのメッセージ	USIMカードに保存しているSMSを確認できます。SMSを削除したり、本体メモリにコピーできます。	

項目	説明	
受信通知	新着SMS受信時にステータスバーに通知メッセージを表示するかどうかを設定します。	
	通知音を鳴らす	新着SMS受信時に通知音を鳴らすかどうかを設定します。
	通知音	新着SMS受信時の通知音を選択します。
	バイブレーション	新着SMS受信時に本機を振動させるかどうかを設定します。

項目	説明	
送信通知	SMS送信時にステータスバーに通知メッセージを表示するかどうかを設定します。	
	通知音を鳴らす	SMS送信時に通知音を鳴らすかどうかを設定します。
	通知音	SMS送信時の通知音を選択します。
	バイブレーション	SMS送信時に本機を振動させるかどうかを設定します。
エラー通知	SMSを送信できなかったときに、ステータスバーに通知メッセージを表示するかどうかを設定します。	

Gmailメール

Gmailメールを開く

お買い上げ時、Gmailで表示される画面はメッセージリスト(以下、受信トレイ)です。受信したメールはすべて受信トレイに配信されます。

1. ＞Gmail

①	フォルダ(またはラベル)と未読のメールの数を示します。
②	既読メッセージの背景はグレーになります。

③	チェックマーク付きメール 複数のメールを選択してまとめてアーカイブしたり、ラベルを付けたり、削除したりします。
④	現在表示しているGoogleアカウント
⑤	メッセージラベル
⑥	スター付きメール スターをタップして追加または削除します。
⑦	チェックマークを付けたメッセージに対して、アーカイブ、ラベル付け、削除などを行います。

Googleアカウントを切り替える

1. **受信トレイ ＞ メニューボタン（menu）＞ アカウント**
2. **アカウントを選択**

補足

- まとめてアーカイブなどの処理をあまり行わない場合（画面左にチェックマークを付けていない複数の通信がある場合）、メニューボタン（menu）を押して設定をタップし、バッチ操作を選択しないようにすると、メッセージリストのチェックマークを非表示にできます。

Gmailメールを更新する

1. **受信トレイ ＞ メニューボタン（menu）＞ 更新**
   新着メールを送受信し、本機のメールとサーバー上のGoogleアカウントを同期することができます。

Gmailメールを作成する

1. **受信トレイ ＞ メニューボタン（menu）＞ 新規作成**

2. **「To」（宛先入力欄）をタップし、宛先を入力**
   宛先の氏名／メールアドレスを入力すると、連絡先に登録されている候補が表示されます。
   複数の宛先を入力する場合は、カンマで区切って入力してください。

■Cc、Bccを利用する場合

＞ メニューボタン（menu）＞ Cc/Bccを追加

3. **件名入力欄をタップし、件名を入力**
4. **本文入力欄をタップし、本文を入力**
5. **送信**

■ファイルを添付する場合

＞ メニューボタン（menu）＞ 添付 ＞添付する画像を選択

補足

- メッセージの作成中に下書き保存をタップすると、下書きとして保存できます。下書きとして保存したメールを確認するときは、受信トレイでメニューボタン（menu）を押してラベル一覧 ＞ 下書きをタップします。
- Gmailメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側で「PCからの受信拒否」の設定を行っていると、メールを受信できません。

メールに署名を追加する

送信するメールに署名を追加することができます。

1. 受信トレイ ＞ メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ 署名
2. 署名を入力 ＞ OK

送信済みメッセージを表示する

1. 受信トレイ ＞ メニューボタン（menu）＞ ラベル一覧 ＞ 送信済みメール

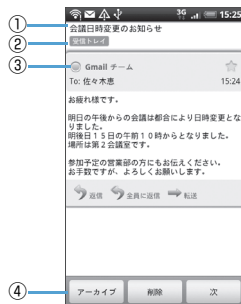
メールの受信と表示

通知設定によって、新着メールを受信したときに着信音を鳴らしたり、バイブレータで通知を受けたり、ステータスバーにメールを短く表示させることができます。新着メールを示す ✉ もステータスバーの通知エリアに表示されます。

Gmail メールは返信ごとにメッセージをグループ分けします。メッセージリストは、新しいメッセージを受信するごとに更新されるので、いつでもリストの中でメッセージを確認できます。新しく受信したメールは、既存のメッセージを参照して、メッセージスレッドとして表示されます。新規メッセージや既存メッセージのタイトルを変更した場合は、新しいメッセージスレッドが作成されます。

メールを表示する

メールの内容を確認するには次のいずれかの操作を行います。

- ホーム画面で、ステータスバーを下向きにスライドして通知パネルを開きます。新着メールをタップして受信トレイを表示します。
- 受信トレイで未読メールをタップするか、未読メールのメッセージリストをタップして内容を表示します。

①	件名
②	メッセージラベル
③	オンラインステータス
④	スレッドオプション

メールの送信者がGoogleトークメンバーの場合、そのメンバーのステータス（応答可能、取り込み中など）が色付きのアイコンで名前の左に表示されます。詳しくは「Googleトーク」（P.6-5）を参照してください。

メッセージを表示しているとき、画面下部にスレッドオプションが表示されます。

スレッドオプションでは以下のことができます。

- アーカイブ：表示されているメッセージをアーカイブとして保存することができます。
- 削除：表示されているメッセージが削除されます。
- 次：１つ前のメッセージを表示します。

補足

- 受信したメッセージにMicrosoft Office形式のファイル（Excel、Word、PowerPoint）やPDFファイルが添付されている場合、プレビューボタンが表示されます。タップするとそのファイルの内容をWebブラウザで見ることができます。ただし、画像やグラフは表示されません。
- 受信したメッセージの添付ファイルは、画像のみダウンロードしてメモリカードへ保存できます。メモリカードを取り付けていない場合、保存はできません。

メールを検索する

特定のメールを、送信者、タイトル、ラベル、詳細検索で検索することができます。詳細検索のオプションは、GmailのWebサイトに記載されています。この検索機能では、Webサイトのグーグルアカウントの中に保存されているすべてのメールから検索します。

1. 受信トレイ ＞ メニューボタン（menu）＞ 検索
2. 検索するキーワードを入力 ＞ 🔍

メールを返信／転送する

1. メッセージを表示 ＞ 返信または全員に返信
2. 本文を入力 ＞ 送信

■メールを転送する場合

＞ 転送 ＞ 宛先を入力 ＞ 本文を入力 ＞ 送信

メッセージリストとメールの管理

メッセージリスト

受信トレイでメッセージリストを長押しして、次の項目をタップします。

・開くをタップすると、メッセージに戻ります。

・アーカイブをタップすると、メールをアーカイブします。

補足

- アーカイブ済みのメッセージを表示するには、受信トレイでメニューボタン（menu）を押してラベル一覧 ＞ すべてのメールをタップします。
- ミュートをタップすると、メッセージリスト全体をミュートにします。ミュートにすると、表示されているメッセージが受信リストに表示されなくなります。あまり重要ではなく、以降の履歴も受信リストに表示する必要がないものは、ミュートにしておくと便利です。表示させるためには、メニューボタン（menu）を押して、ラベル一覧 ＞ すべてのメールをタップしてください。ミュートに設定したメッセージにはミュートのアイコンが付いています。
- 削除をタップすると、メールを削除できます。
- スターを付けるまたはスターをはずすをタップすると、メッセージリストのスターを追加／削除できます。
- ラベルを変更をタップすると、メッセージリストのラベルを追加／変更できます。
- 本機でラベルを作成することはできません。Gmail Webサイトで作成してください。
- 迷惑メールを報告をタップすると、メッセージをスパムとして報告します。

新着メール通知の設定

1. メッセージリスト ＞ メニューボタン（menu）＞ 設定
2. 「メール着信通知」にチェックを付ける

新着メッセージを受信したときにステータスバーに通知されます。

■着信音で通知を受けたい場合

＞ 着信音を選択 ＞ 着信音を選択 ＞ OK

■新着メッセージ受信時に着信音を鳴らしたくない場合

＞ 着信音を選択 ＞ サイレント ＞ OK

■新着メッセージ受信時にバイブレータで通知を受けたい場合

＞ 「バイブレーション」にチェックを付ける

インターネットメールアカウントの設定

メールアカウントの設定

インターネットメールのアカウントや社内メールのアカウントを設定します。

● 会社のExchange Serverのメールについては、ActiveSyncにて設定を行います。設定方法については、社内システム管理者にご確認ください。

メールアカウントの設定の準備

設定するメールアカウントについて、以下の情報を事前に確認しておいてください。

・メールアドレス
・ユーザー名（ユーザー ID）
・パスワード
・受信メールサーバーの種類（POP3 または IMAP4）
・受信メールサーバー名（POP／IMAP）
・送信サーバー名（SMTP）
・日付／時刻

新しいアカウントを追加する

1. [ホームボタン] ＞メール

2. **Exchange ActiveSyncまたはその他（POP3／IMAP）**

3. **アカウントのメールアドレスとパスワードを入力 ＞ 次へ**
次への代わりに手動設定をタップすると、設定するメールアカウントの受信設定および送信設定を直接入力できます。

4. **アカウントの名前と宛先として送信メールに表示される名前を入力 ＞ 設定を完了**

注意

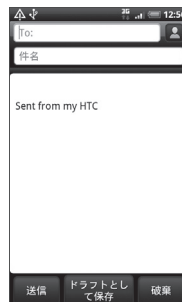
• メールアカウントを設定後、さらに他のメールアカウントを設定する場合は、メニューボタン（menu）を押し、その他 ＞ 新しいアカウントをタップしてください。

インターネットメールを作成する

インターネットメールを新規に作成して送信します。

1. [ホームボタン] ＞ メール

2. **インターネットメールのアカウントを選択**

3. **メニューボタン（menu）＞ 作成**
メール作成画面が表示されます。

4. **「To：」（宛先入力欄）をタップし、宛先を入力**
[連絡先アイコン] をタップすると、連絡先から選択することができます。

Cc、Bccを利用する場合は、メニューボタン（menu）を押してCc／Bccを表示をタップするとCc、Bcc入力欄が表示されます。

5. 「件名」（件名入力欄）をタップし、件名を入力

6. 本文入力欄をタップし、本文を入力

7. 送信

■ファイルを添付する場合

＞メール作成画面＞メニューボタン（menu）＞添付ファイルを追加＞添付するファイルの種類を選択＞ファイルを選択

■メールの作成を中止する場合

＞メール作成画面＞メニューボタン（menu）＞破棄＞OK

■メールの作成途中で保存する場合

＞メール作成画面＞ドラフトとして保存

ドラフトフォルダに保存されます。

■メールの優先度を設定する場合

＞メニューボタン（menu）＞優先度の設定＞メールの優先度を選択

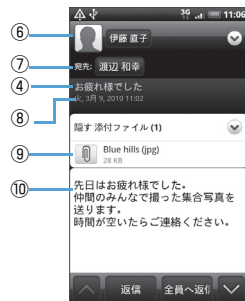
補足

- 宛先のCc、Bcc入力欄には、メールのコピーを送信したい相手のアドレスを入力します。なお、Bcc入力欄に入力したアドレスは、Bccで送信した相手以外の送信者には表示されません。

インターネットメールを受信する

インターネットメール画面の見かた

■インターネットメール一覧画面

■インターネットメール詳細画面

①未読メール件数
②メールアカウント切替
　他のメールアカウントを表示／新規アカウント作成
③送信元／宛先
　受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先
　送信メールで宛先にCcがある場合は、Ccでの送信先も表示
④件名
⑤フィルタータブ
⑥送信元
⑦宛先
　受信メールの場合は送信元の送信先、送信メールの場合は送信先
　宛先にCcがある場合は、Ccでの送信先も表示
⑧送信日時
　受信メールの場合は送信元の送信日時、送信メールの場合は送信日時
⑨添付ファイル
　添付ファイルがある場合には、ファイル名と容量を表示
⑩本文

フィルタータブについて

インターネットメール一覧画面の下部に、以下のフィルタータブが表示されます。

アイコン	説明
（受信トレイ）	各フォルダごとにメールを表示します。
（会話）	すべてのフォルダのメールを件名ごとに表示します。
（VIPグループ）	VIPグループに登録されている連絡先からのメールを表示します。
（未読）	未読メールを表示します。
（添付ファイル）	すべてのフォルダ内でファイルが添付されたメールを表示します。

インターネットメールを読む

1. ［ホーム］ ＞ メール

2. インターネットメールのアカウントを選択

インターネットメール一覧画面が表示されます。

フォルダを変更する場合は、メニューボタン（menu）を押してフォルダをタップしてから、対象のフォルダを選択してください。

3. 対象のメールを選択

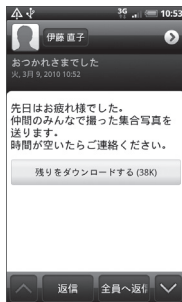
インターネットメール詳細画面が表示されます。

■未読／開封済みを変更する場合

＞インターネットメール一覧画面 ＞ 対象のメールを1秒以上タップ ＞ 開封にする／未読にする

メールのすべての内容／添付ファイルを受信する

インターネットメール詳細画面に「残りをダウンロードする」と表示されている場合は、受信していないメッセージや添付ファイルが存在しています。すべてを受信するためには、手動で設定する必要があります。

1. インターネットメール一覧画面 ＞ 対象のメールを選択

2. 残りをダウンロードする

添付ファイルを確認／保存する

1. 対象のメールを表示
2. 表示 添付ファイル ＞ 添付ファイルを選択 ＞ SDカードに保存
   ファイルが保存されます。

■添付ファイルを確認する場合

添付ファイルを選択 ＞ 開く

インターネットメールを返信／転送する

1. 対象のメールを表示 ＞ 返信または全員へ返信

■メールを転送する場合

＞ メニューボタン（menu）＞ 転送

2. 件名や本文を入力し、メール送信

インターネットメールを管理する

フォルダの表示切替

1. インターネットメール一覧画面 ＞ メニューボタン（menu）＞ フォルダ
   フォルダ一覧画面が表示されます。
2. 対象のフォルダを選択

インターネットメールを他のフォルダに移動する

1. インターネットメール一覧画面 ＞ 対象のメールを１秒以上タップ
2. 移動先 ＞ 移動先のフォルダを選択

インターネットメールを削除する

1. インターネットメール一覧画面 ＞ 対象のメールを１秒以上タップ
2. 削除
   削除したメールは「ごみ箱」に移動されます。

■複数のメールを削除する場合

＞ インターネットメール一覧画面 ＞ メニューボタン（menu）＞ 削除 ＞ 対象のメールを選択 ＞ 削除

■フォルダ内のメールをすべて削除する場合

＞ インターネットメール一覧画面 ＞ メニューボタン（menu）＞ 削除 ＞ メニューボタン（menu）＞ すべてマーク ＞ 削除

メールサーバーからメールを削除する

インターネットメールは、本機でメールを受信してもメールサーバーにはメールが残っています。パソコンで同じメールを受信したときはメールサーバーからも削除されます（P.7-13）。本機からメールサーバーのメールを削除するには、「ごみ箱」からメールを削除してください。

インターネットメールのオプション設定

メールに関する全般的な設定を行います。

1. インターネットメール一覧画面 ＞ メニューボタン（menu） ＞ その他 ＞ 設定
2. 以下の項目を設定

項目	説明
アカウント設定	既存のアカウントの編集を行います。
一般設定	フォントサイズ、署名、既定のアカウント、メールを削除するときに警告メッセージを表示するかどうかなどを設定します。
送受信	メールサイズの制限設定、受信間隔などの受信設定と、返信時の元のメッセージの扱い、受信後サーバーメールを削除するかどうかなどを設定します。
通知設定	メール受信時の通知メッセージ、通知音、バイブレーションの動作を設定します。
アカウントの削除	表示中のメールアカウントを削除します。

8 文字入力

スクリーンキーボードを使う

テキストや数字の入力が必要なプログラムを起動したときや、テキストフィールドを選択したときには、文字入力のためにスクリーンキーボードを使用できます。

1. テキストエリアをタップ

入力モード	説明
あ	漢字ひらがな入力モード
カ	全角カタカナ入力モード
ｶﾅ	半角カタカナ入力モード
A	全角英字入力モード
AB	半角英字入力モード
1	全角数字
12	半角数字

①戻るキー
　文字入力キーに割り当てられている1つ前の文字に戻ります。

②カーソル移動キー（左）
　カーソルを左に移動します。連文節変換時は文節を1文字分短くします。ワイルドカード予測にも利用します。

③記号キー
　記号／顔文字リストを表示します。英数カナが表示されているときは、英数カナ変換を行います。

④文字切替キー
　入力モードを切り替えます。（ひらがな→半角英字→半角数字→ひらがな→・・・）
　1秒以上タップするとパネルが表示され、入力モードの切り替えとQWERTYキーボードへの切り替えができます。

⑤バックスペースキー
　カーソルの前の文字を削除します。タップし続けると文字を連続して削除します。

⑥カーソル移動キー（右）
　カーソルを右に移動します。連文節変換時は文節を1文字分短くします。ワイルドカード予測にも利用します。

⑦スペースキー
　スペースの入力、または連文節変換を行います。

⑧Enterキー
　改行入力、または入力中の読み（変換中は文節）を確定します。

⑨入力中の文字、またはカーソルの前の文字に対し「゛」（濁点）「゜」（半濁点）の入力および大文字、小文字への変換を行います。

⑩文字入力キー

⑪「、」（読点）と「。」（句点）を表示します。

補足

- キーボードが必要ではないときは、メニューボタン（menu）を長押しして閉じることができます。キーボードを再び表示するには、画面上のテキストボックスにタッチするか、テキストフィールドが選択されている場合はオプティカルジョイスティックを押して表示することができます。
- 文字を挿入または削除する必要があるときは、オプティカルジョイスティックを使用して編集したい文字の隣にカーソルを移動するか、画面上のテキストボックスをタップしてください。
- 半角英字（英語モード）にて、予測変換を利用する際は、確定時に、自動的にスペースが入力される場合があります。メールアドレスやURLの入力の際には、手動でスペースを削除する必要があります。

ひらがな／漢字を入力する

漢字を入力するには、文字入力キーをタップしてひらがなを入力し、変換候補から選択します。

＜例：「携帯」と入力する場合＞

1. 入力モードが「漢字ひらがな入力モード」になっていることを確認

2. 文字入力キーをタップして「けいたい」と入力

か(4回) あ(2回) た(1回) あ(2回)
け い た い

変換候補エリアに変換候補が表示されます。
変換候補エリアに変換候補を表示しきれない場合は、変換候補エリア右の／をタップして変換候補エリアの最大化／最小化をすることができます。
英数カナをタップすると、入力した文字に応じた英数およびカタカナの変換候補が表示されます。
変換をタップすると、入力した文字の変換候補が表示されます。
カーソルキー（／）をタップして変換する文字の範囲を変更することもできます。

3. 「携帯」をタップ

「携帯」が入力されます。
選択した文字によっては、さらに変換候補を選択することが可能です。

補足

- 一度入力した文字列は自動的に記憶され、変換時に使用頻度が高い文字列が優先的に表示されます（学習辞書）。

キーボードで入力する

漢字を入力するには、文字入力キーをタップしてひらがなを入力し、変換候補から漢字を選択するか、漢字に変換します。

- QWERTYキーボードに切り替えるには、文字切替キーを1秒以上押して、またはをタップします。

＜例：「携帯」と入力する場合＞

1. 入力モードが「漢字ひらがな入力モード」になっていることを確認

2. 文字入力キーをタップして「けいたい」と入力

■ローマ字／カナの場合

「k」「e」 「i」 「t」「a」 「i」
け い た い

変換候補エリアに変換候補が表示されます。
変換候補エリアに変換候補を表示しきれない場合は、変換候補エリア右の／をタップして変換候補エリアの最大化／最小化をすることができます。

変換をタップすると、入力した文字の変換候補が表示されます。

3.「携帯」をタップ

「携帯」が入力されます。

選択した文字によっては、さらに変換候補を選択することが可能です。

補足

- 一度入力した文字列は自動的に記憶され、変換時に使用頻度が高い文字列が優先的に表示されます（学習辞書）。

記号／顔文字を入力する

登録されている記号／顔文字を入力できます。

1. 文字入力中 > 記号キー

記号キーをタップするために、記号／顔文字一覧が切り替わります。

2. 対象の記号／顔文字キーをタップ

タッチ入力設定を変更する

ホーム画面でメニューボタン（menu）を押し、設定 > 言語とキーボード > iWnn IMEをタップすると、以下の文字入力の各種設定を行うことができます。

項目	説明
キー操作音	キーをタップしたときに操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
キーポップアップ	タップしたキーの拡大表示をするかどうかを設定します。
自動大文字変換	英字入力時、文頭文字を大文字にするかどうかを設定します。
キーボードのデザイン	スクリーンキーボードのデザインを変更します。
候補学習	入力変換した語句を学習させるかどうかを設定します。
予測変換	文字入力時、変換候補を表示させるかどうかを設定します。
入力ミス補正	入力間違いの修正候補を表示させるかどうかを設定します。
ワイルドカード予測	ワイルドカード予測機能を使用するかどうかを設定します。

項目	説明
日本語ユーザー辞書	漢字ひらがな入力モードで使用する日本語ユーザー辞書を登録します。
英語ユーザー辞書	半角英字入力モードで使用する英語ユーザー辞書を登録します。
連絡先データ読み込み	連絡先に登録している名前を、予測変換候補に追加するかどうかを選択します。
学習辞書リセット	学習辞書をリセットします。

9 カレンダー

カレンダーについて

カレンダーを利用して予定、会議、約束などのスケジュール管理ができます。同期の設定をすると、WebサイトのGoogleカレンダーに登録したスケジュールが本機のカレンダーに追加され同期することができます。

● WebサイトのGoogleカレンダーを使用すると、パーソナル、ビジネス、ファミリーなどの用途別に複数のカレンダーを作成することができます。カレンダーの作成について詳しくは、以下のホームページを参照してください。
http://www.google.com/support/calendar/?hl=ja

予定の登録と管理

カレンダーを表示する

カレンダーを日表示、週表示、月表示、または予定リストで表示することができます。

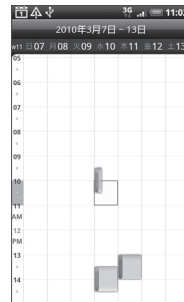
表示する単位を切り替える

1. > カレンダー
カレンダー画面が表示されます。

2. メニューボタン（menu）> 日／週／月／予定リスト

補足

- どの種類のカレンダー画面でも、今日以外の日を表示しているときにメニューボタン（menu）を押し、今日をタップすると、今日を含む表示に切り替わります。

月表示

週表示

日表示

予定リスト

カレンダー画面では以下のことができます。

・月表示のときに をタップすると、予定リストを表示できます。 をタップすると、月表示に戻ります。
・月表示のときに予定詳細を表示するには、予定のある日をタップして確認したい予定をタップします。
・週表示または日表示のときに予定詳細を表示するには、確認したい予定または時間帯をタップします。
・オプティカルジョイスティックを使用して簡単に予定詳細を確認できます。
・表示されている予定を1秒以上タップすると、予定の表示、編集、削除、新規予定の作成などのオプション画面が表示されます。
・メニューボタン（menu）を押して、その他 > カレンダーをタップすると、表示するカレンダーの種類を選択できます。

指定した日の予定を表示する

1. > カレンダー
2. メニューボタン（menu）> その他 > 切り替え
3. 指定の日付を選択 > 設定

補足

• 月表示のカレンダーを表示しているときは、画面右上の日付アイコンをタップすると今日の予定を表示することができます。

予定を登録する

1. カレンダー画面 > ＋

2. 複数のカレンダーを設定している場合は、カレンダー欄で登録するカレンダーを選択
3. 以下の項目を設定

項目	説明
タイトル	予定の名称を入力します。
開始	予定の開始日時を設定します。
終了	予定の終了日時を設定します。
終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
場所	予定の場所を入力します。
内容	予定の内容を入力します。
通知	事前通知（開始日時からどのくらい前に通知するか）を設定します。
ゲスト（Googleアカウントのみ）	ゲストを予定に招待します。入力したメールアドレスに招待メールを送ります。
繰り返し	1回だけの予定か定期的（毎日、毎週、毎月、毎年）な予定かを設定します。

4. 保存

補足

- カレンダー画面で設定したい日や時間帯を1秒以上タップし、予定を作成をタップしても新規予定を登録できます。
- 通知の方法を設定するには、カレンダー画面でメニューボタン（menu）を押し、その他 ＞ 設定 ＞ 通知設定 ＞ 通知方法をタップして、アラートかステータスバーへの表示か、通知しないかを選択することができます。
- カレンダー画面でメニューボタン（menu）を押し、その他 ＞ 設定 ＞ 通知設定 ＞ 通知音を選択をタップすると、通知時の着信音を選択することができます。

予定のリマインダー

予定のリマインダーが設定されているとき、その予定の開始時間になると、予定アイコン がステータスバーの通知エリアに表示されます。

リマインダーを表示する

1. **ステータスバーをタップして画面下部にスライドする**
   通知パネルが開きます。
2. **予定のタイトルをタップ**

■すべてのリマインダーを消去する場合

＞ 通知を消去

■すべてのリマインダーを繰り返し表示（スヌーズ）する場合

＞ すべてスヌーズ

すべてのリマインダーがスヌーズされ、5分後に再度アラームが鳴ります。

補足

- 戻るボタン（↩）を押すと、保留中の予定のリマインダーを変更せずにステータスバーの通知の状態に戻ります。

カレンダーを同期する

本機のカレンダーとGoogleカレンダーの同期を設定します。

Googleカレンダーの同期を停止する

1. **カレンダー画面 ＞ メニューボタン（menu）＞ その他 ＞ カレンダー**
2. **メニューボタン（menu）＞ カレンダーを削除**
3. **対象のカレンダーにチェックを付ける ＞ OK**
4. **戻るボタン（↩）**
   カレンダーが更新されます。

補足

- 本機でGoogleカレンダーを削除して同期を停止しても、WebサイトのGoogleカレンダーは削除されません。

Googleカレンダーを追加する

Googleカレンダーを追加し、本機のカレンダーと同期できます。以前に削除したGoogleカレンダーも、再度追加して同期させることができます。

1. カレンダー画面でメニューボタン（MENU）> その他 > カレンダー
2. メニューボタン（MENU）> カレンダーを追加
3. 追加するカレンダーにチェックを付ける > OK
4. 戻るボタン（↩）
   カレンダーが更新されます。

10 時計と天気情報

HTCクロック

HTCクロックについて

お買い上げ時、ホーム画面にはHTCクロックが表示され、日付や現在時刻、現在地を確認できます。HTCクロックには現在の天気も表示され、タップして詳しい天気情報を得ることもできます（P.10-3）。

いろいろなバリエーションからHTCクロックのデザインを選ぶことができます。日付や時刻を表示したい都市を選んで、拡張ホームスクリーンに自由に配置することもできます。

時計について

時計では日付／時刻や天気情報の表示以外に、世界時計、アラーム、ストップウォッチ、タイマーの各機能を利用できます。また、時計をナイトモードで表示したり、スクリーンセーバーのように表示することもできます。

時計を表示する

1. **ホーム画面の HTC クロックをタップ**

 ＞ 時計をタップしても時計を表示できます。

①	タップすると、日付と時刻のみ表示してバックライトを消灯します（ナイトモード）。通常の画面に戻すには再度画面をタップします。
②	アラームのオン／オフの状態を表示します。
③	現在地の天気を表示します。タップすると、天気情報と今日から５日間の天気予報を表示できます。
④	電池残量を表示します。ACアダプタまたはUSBケーブルでパソコンに接続時にのみ表示されます。
⑤	タップすると、日付と時刻のみを表示したスクリーンセーバーモードになります。通常の画面に戻すには再度画面をタップします。

タブを切り替える

時計の画面下には以下のタブが表示されます。タブをタップまたはドラッグして画面を切り替えます。

①	置き時計タブ	日付や時刻、天気情報、電池残量などが表示されます。
②	世界時計タブ	現在地以外に、15の都市を登録して世界時計として利用できます。ホーム都市の設定や現在地の日付／時刻設定を行うこともできます。
③	アラームタブ	アラームを設定して目ざまし時計として使用できます。
④	ストップウォッチタブ	本機をストップウォッチとして使用できます。
⑤	タイマータブ	本機をタイマーとして使用できます。

天気情報

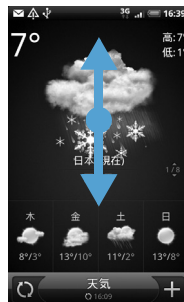
はじめて電源を入れたときに表示される初期設定ウィザードで、Googleロケーション機能をオンに設定していれば、現在地の天気情報をホーム画面のHTCクロックに表示させることができます。
現在地に加えて世界都市の今日から5日間の天気予報をチェックすることもできます。

補足

- 初期設定時にGoogleロケーション機能をオフに設定した場合は、メニューボタン（menu）を押して設定 ＞ 位置情報 ＞ ワイヤレスネットワークを使用をタップして機能をオンにしてください。

天気画面を表示する

1. ＞ 天気

画面を上下にスライドすると、他の都市の天気情報を見ることができます。

補足

- 天気情報は自動的に更新されますが、をタップして手動で更新することもできます。
- 天気情報はAccuweather.com より提供される情報です。気象庁発表の天気予報とは異なります。

天気情報を表示する都市を登録する

1. ＞ 天気 ＞ ＋

2. 都市名を入力 ＞ 都市名の候補リストから追加する都市を選択

■登録した都市を削除する場合

＞ 天気画面 ＞ メニューボタン（menu）＞ 削除 ＞ 削除する都市を選択 ＞ 削除

天気画面の表示順を変更する

1. > 天気
2. メニューボタン（menu）> 再配列
3. ☰ をドラッグして都市名を移動 > 完了

補足

- 天気画面でメニューボタン（menu）を押して設定をタップすると、天気情報の自動更新、更新頻度などの設定を変更できます。

11 インターネット

ネットワークの設定

本機は3Gパケット通信を利用したインターネット接続が設定されています。特に設定を変更しない限り、3Gパケット通信経由でインターネットに接続します。

GPRS／3Gを使う

使用しているネットワーク接続をチェックするには

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ 無線とネットワーク
2. モバイルネットワーク設定 ＞ アクセスポイント名またはネットワークオペレーター

新しいアクセスポイントを作成する

本機に他のGPRS／3G接続を追加する必要がある場合は、ご利用のインターネット接続サービスプロバイダからアクセスポイント名と設定（および必要に応じて、ユーザー名とパスワード）を入手してください。

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ 無線とネットワーク
2. モバイルネットワーク設定 ＞ アクセスポイント名
3. メニューボタン（menu）＞ 新しいAPN
4. APN設定を編集 ＞ メニューボタン（menu）＞ 保存

注意

- APN設定の際に、MCC/MNCをデフォルト設定値（440/20）以外に変更をすると、APN画面上に表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面上に表示されなくなった場合には、初期設定にリセット、もしくは新しいAPNにて、再度APNの設定を行ってください。

Wi-Fiを使う

Wi-Fiによって、無線LANによるインターネットの利用が可能になります。本機でWi-Fiを使用するには、無線LANアクセスポイント（ホットスポット）にアクセスする必要があります。

補足

- 無線LANネットワークが切断された場合は、自動的にGPRS／3Gネットワークでの接続に切り替わります。

Wi-Fiをオンにして無線LANネットワークに接続する

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ 無線とネットワーク
2. 「Wi-Fi」にチェックを付ける
   利用可能な無線LANネットワークをスキャンします。
3. Wi-Fi設定
   検出されたWi-Fiネットワークのネットワーク名とセキュリティ設定（オープンネットワークまたはセキュリティで保護）がWi-Fiネットワークセクションに表示されます。
4. Wi-Fiネットワークを選択
   オープンネットワークを選択した場合、接続をタップするとネットワークに接続されます。
   セキュリティで保護されているネットワークを選択した場合、セキュリティキー（すでに設定されたキー）を入力し、接続をタップします。

補足

- お買い上げ時の状態にリセットしない限り、一度アクセスしたセキュリティで保護された無線LANネットワークに接続しても、セキュリティキーの再入力は必要ありません。
- Wi-Fi ネットワークには、自己検出機能が備わっていますので、Wi-Fi ネットワークに接続するのに追加手順は必要ありません。特定の非公開無線LANネットワークの場合、ユーザー名とパスワードの提供が必要な場合があります。
- Wi-Fi をスリープに切り替えることができます。Wi-Fiをスリープに切り替えるには、Wi-Fi設定画面でメニューボタン（menu）を押し、詳細設定 ＞ Wi-Fiのスリープ設定をタップして選択できます。

無線 LAN ネットワークの状況をチェックする

以下で現在の無線LAN接続状況をチェックできます。

・**ステータスバー**

本機が無線LANネットワークに接続されている場合、ステータスバーにWi-Fiアイコンが表示され、おおよその信号強度（使用帯域数）が示されます。Wi-Fi設定のネットワークの通知が有効な場合、範囲内で利用可能な無線LANネットワークが検出されると、常に がステータスバーに表示されます。

・**Wi-Fiネットワーク**

無線とネットワーク画面でWi-Fi設定をタップし、現在接続されている無線LANネットワークをタップします。接続状況、速度、電波強度、セキュリティ、IPアドレスが表示されます。

補足

- 無線 LAN ネットワーク設定を削除する場合は、切断をタップします。削除したネットワークに接続する場合は、再度設定を入力する必要があります。

別のWi-Fiネットワークに接続する

1. **メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ 無線とネットワーク ＞ Wi-Fi設定**

検出されたWi-Fiネットワークが、Wi-Fiネットワークセクションに表示されます。

■利用可能なWi-Fiネットワークを手動でスキャンする場合

Wi-Fi設定画面でメニューボタン（menu）＞ スキャン

2. **別のWi-Fi ネットワークを選択**

補足

- 接続先の無線 LAN ネットワークが検出ネットワークリストにない場合、画面を下にスクロールして、Wi-Fi ネットワークを追加をタップします。無線LANネットワーク設定を入力し、保存をタップします。

VPNに接続する

仮想プライベートネットワーク（Virtual Private Networks:VPN）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

VPN接続の安全性を確保するシステムは数多くあり、証明書などの仕組みを用いて、許可されたユーザーだけが接続できるようにしているものもあります。本機からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

証明書について

証明書を使用するVPNアクセスを利用する場合は、本機にVPNアクセスを設定する前に、証明書を入手して本機の証明書保管先（メモリカード）に保存する必要があります。
Webサイトから証明書をダウンロードするようネットワーク管理者から指示された場合、証明書のダウンロード時に、認証情報ストレージのパスワードを設定するようメッセージが表示されます。
ネットワーク管理者が他の方法で証明書を入手するよう指示した場合は、まずセキュリティ設定で認証情報ストレージのパスワードを設定する必要があります。

VPNを追加する

1. メニューボタン（menu）> 設定 > 無線とネットワーク > VPN設定
2. VPNの追加
3. 追加するVPNの種類を選択
4. ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定する
5. メニューボタン（menu）> 保存
   VPN設定画面のリストに、新たなVPNが追加されます。

VPNに接続する

1. メニューボタン（menu）> 設定 > 無線とネットワーク > VPN設定
2. 接続するVPNを選択
3. 必要な認証情報を入力 > 接続
   VPNに接続すると、接続中を示す通知がステータスバーに表示されます。切断すると、VPN設定画面に戻るための通知が表示され、再接続できます。

VPNを切断するには

1. 通知パネルを開いて VPN 接続中を示す通知を選択
   接続中のVPN通知をタップして切断します。

ブラウザを利用する

ブラウザを起動してインターネットを開始します。ブラウザは完全に最適化されており、ネットサーフィンができるよう高度な機能が装備されています。

補足

- インターネットにアクセスするにはデータ接続可能な状態（3G、GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。

ブラウザを起動する

1. > ブラウザ
   ホーム画面のブラウザアイコンをタップしてもブラウザを起動できます。

補足

- SMSやメール内のURLをタップするとブラウザが自動的に起動します。

URLを入力してWebページを表示する

1. > ブラウザ

2. アドレスバーにURLを入力

■アドレスバーが表示されていない場合
メニューボタン（menu）

URLを入力すると、一致するWebページアドレスが画面に表示されます。アドレスをタップしてそのWebページに移動するか、続けてURLを入力します。

ホームページを設定する

1. [ボタン] > ブラウザ

2. メニューボタン（menu）> その他 > 設定 > ホームページ設定 > ホームページ設定

3. ホームページに設定するURLを入力 > OK

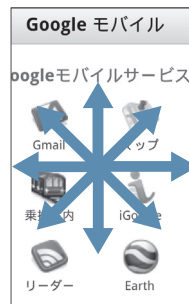
Webページ表示中の操作

ページを回転する

本機を倒すと、Webページが自動的に回転します。

● ページを自動的に回転させるには、ホーム画面でメニューボタン（menu）を押し、設定 > 音とディスプレイの画面の向きにチェックを付けておく必要があります。

ページをパンする

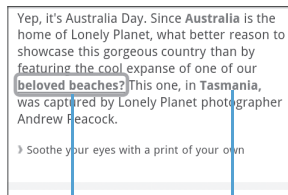
タッチパネルをタップしたまま上下左右、斜めにドラッグすると、ページをパンすることができます。

ページを拡大表示する

タッチパネルをダブルタップすると、Webページが拡大表示されます。もう一度ダブルタップすると、元の表示に戻ります。
タッチパネルを2本の指でつまんだり、広げたりしても、ページ表示を拡大／縮小できます。

拡大表示したい部分を2本の指で広げるとページ表示が拡大します。

縮小表示したい部分を2本の指でつまむとページ表示が縮小します。

Webページでリンクを選択する

オプティカルジョイスティックを使用して、Webページのリンクをナビゲーションします。オプティカルジョイスティックを動かすと、リンクのあるところに動きます。リンク箇所は緑のボックスで囲まれます。

①	リンクが選択されています。
②	リンクが選択されていません。

リンク	操作
Webページアドレス（URL）	リンクをタップして Webページを開きます。
	リンクを1秒以上タップして、メニューを開きます。リンクを開く、ブックマークに入れる、クリップボードにコピーする、メールで共有することができます。
メールアドレス	タップしてメールメッセージをメールアドレスに送信します。
	タップしたまま、メニューのコピーをタップし、メールアドレスをクリップボードにコピーします。新規連絡先を作成したり、新規メールメッセージを送信するときに、メールアドレスを貼り付けることもできます。

ブラウザでは、一部の電話番号や住所も認識するので、電話番号に電話をしたり、Googleマップで住所を検索したりできます。ナビゲーション時に認識された電話番号や住所は緑でハイライト表示されます。

リンク	操作
所在地の住所	住所をタップしてGoogleマップを開き、住所を検索します。
電話番号	タップして電話画面を開き、その電話番号に電話します。

新しいウィンドウを開く

複数のウィンドウを開いて、Webページ間の切り替えを簡単に行えます。最大4つのウィンドウを開くことができます。

1. Webページ表示中 ＞ メニューボタン（menu）＞ ウィンドウ
2. ＋
新しいウィンドウが開き、ホームページが表示されます。

補足

- 複数のブラウザウィンドウを開いている場合、メニューボタン（menu）を押してウィンドウをタップすると、さらにウィンドウを追加できます。

ウィンドウを切り替える

1. Webページ表示中 ＞ メニューボタン（menu）＞ ウィンドウ
2. 左右にスライドして表示したいウィンドウを選択
ウィンドウを閉じるには、閉じたいウィンドウの ✕ をタップします。

Webページでテキストを検索する

1. Webページ表示中 ＞ メニューボタン（menu）＞ その他 ＞ ページ内検索
2. 検索項目を入力
文字を入力すると、一致する文字が緑でハイライト表示されます。左右矢印をタップすると前後の一致項目に進みます。

Webページでテキストをコピー／検索／共有する

Webページのテキストを範囲指定して以下の機能を利用できます。

- テキストのコピー
- ウィキペディアやGoogle辞書で検索
- Google翻訳でテキスト翻訳
- SMSやメール本文に貼り付けて送信／SNSでステータス更新

1. Webページ表示中 ＞ テキストを1秒以上タップ

2. テキストの開始位置から終了位置までドラッグ

選択したテキストが反転表示します。

①	アイコンをタップすると、テキストのコピー、検索／翻訳、共有ができます。
②	開始／終了マーク

マークをドラッグすると、テキストの選択範囲を変更できます。

テキストブロック全体を選択したときは、以下のように表示されます。選択範囲の上下にあるマークをドラッグすると、他のテキストブロックも選択できます。

アプリケーションをダウンロードする

アプリケーションをダウンロードするには、まず、本機の設定でダウンロードを有効にする必要があります。

1. メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ アプリケーション
2. 「不明な提供元」にチェックを付ける ＞ OK

注意

- ダウンロードするアプリケーションは情報源が不明な場合もあります。本機と個人データを保護するため、Androidマーケットなど信頼できる情報源からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

補足

- ダウンロードされたアプリケーションはすべてメモリカードに保存されます。Webからアプリケーションをダウンロードする前に、本機にメモリカードが取り付けられていることを確認してください（P.1-6）。

Webページをブックマークに追加する

1. Webページ表示中 ＞ メニューボタン（menu）＞ ブックマークを追加
2. 名前やアドレスを確認 ＞ 完了

ブックマークからWebページを表示する

1. ⊙ ＞ ブラウザ

2. メニューボタン（menu）> ブックマーク > 表示したいブックマークを選択

ブックマークを編集する

1. > ブラウザ
2. メニューボタン（menu）> ブックマーク > 対象のブックマークを1秒以上タップ > 編集
3. 名前やアドレスを編集 > 完了

よく閲覧するページを表示する

1. > ブラウザ
2. メニューボタン（menu）> ブックマーク >

■一覧をすべて削除する場合

> メニューボタン（menu）> ブックマーク > > メニューボタン（menu）> すべてクリア

閲覧履歴を表示する

1. > ブラウザ
2. メニューボタン（menu）> ブックマーク >

■閲覧履歴をすべて削除する場合

> メニューボタン（menu）> ブックマーク > > メニューボタン（menu）> 履歴消去

ブラウザを設定する

ブラウザ画面でメニューボタン（menu）を押してその他 > 設定をタップし、ブラウザの設定とオプションを設定します。

Bluetooth® 12

Bluetooth®機能を使う

Bluetooth®とは、無線を利用して約10m以内にあるBluetooth®対応機器とワイヤレス接続するための通信機能です。

● Bluetooth®通信機能を使用する前に、「Bluetooth®機能を使用する場合のお願い」（P.xxii）をよくお読みください。

Bluetooth®通信機能をオンにする

1. メニューボタン（menu）> 設定 > 無線とネットワーク
2. 「Bluetooth」にチェックを付ける
   オンになると、ステータスバーにBluetooth®アイコン が表示されます。

本機を検出可能にする

1. メニューボタン（menu）> 設定 > 無線とネットワーク
2. Bluetooth設定 > 「検出可能」にチェックを付ける

端末の名前を変更する

端末の名前によって、Bluetoothネットワークで端末が識別されます。

1. Bluetooth をオンにしていることを確認
2. メニューボタン（menu）> 設定 > 無線とネットワーク
3. Bluetooth設定 > デバイス名
4. デバイス名を入力 > OK

ペアリング

ペアリングとは、Bluetooth®対応機器同士の無線接続の設定をすることです。一度設定すると、これらの機器は次回からは自動的に接続されるようになります。

● ペアリングするためには、同じパスコードを双方のBluetooth®対応機器で入力する必要があります。

パソコンとのペアリング

パソコン側の設定

1. 使用するパソコン上で、「スタート」→「コントロールパネル」→「Bluetooth デバイス」の順に開く
2. 画面の指示に従って、設定を行う

本機側の設定

1. パソコンからペアリングのリクエストを受信 > はい
2. パソコンの画面に表示されているパスコードを本機に入力 > 次へ
3. 接続の完了 > 完了

4. **パソコンから提供されるサービスの中から、利用するサービスにチェックを付ける**

ハンズフリーヘッドセット／車内ハンズフリーキットとのペアリング

あらかじめハンズフリーヘッドセットや車内ハンズフリーキットの電源を入れ、ペアリングするモードに切り替えておきます。詳細は、ハンズフリーヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

1. **メニューボタン（menu）＞ 設定**
2. **無線とネットワーク ＞ Bluetooth設定 ＞「Bluetooth」にチェックを付ける**
   デバイスの検索が行われ、検出されたデバイスがBluetooth端末セクションに表示されます。
   リストにデバイスが見つからない場合、デバイス検索をタップして再度スキャンします。
3. **接続するデバイスを選択**
4. **固有のパスコードを入力 ＞ OK**
   固有のパスコードについてはハンズフリーヘッドセットの取扱説明書を参照してください。
   Bluetooth® 接続アイコンが表示され、ハンズフリーヘッドセットや車内ハンズフリーキットを使用して電話をかけたり受けたりできます。

ハンズフリーヘッドセット／車内ハンズフリーキットと切断する

1. **メニューボタン（menu）＞ 設定**
2. **無線とネットワーク ＞ Bluetooth設定**
3. **切断するデバイスを 1 秒以上タップ ＞ 接続を解除**
   ハンズフリーヘッドセットまたは車内ハンズフリーキットとのすべてのペアリング情報を消去する場合は、切断してペアを解除をタップします。切断したデバイスに接続する場合は、パスコードを再度入力する必要があります。

補足

- ハンズフリーヘッドセットが A2DP 規格に対応していると、ステレオ音声で聞くことができます。

カメラ 13

カメラを使う

カメラをご使用になる前に

- カメラを使用する前にメモリカードを挿入してください。本機で撮影した写真または動画はすべてメモリカードに保存されます。メモリカードを挿入する方法については、「メモリカードについて」（P.1-6）を参照してください。

カメラご利用時の注意

- レンズが指紋や油脂などで汚れると、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでふいてください。
- 撮影するときは、本機をしっかり持ってください。手ぶれがあると撮影した静止画／動画にぶれが生じます。
- 本機ではバーコード（QRコード／JANコード）を読み取ることはできません。
- カメラのレンズ部分に直射日光を長時間当てると、内部のカラーフィルターが変色し、映像が変色することがありますのでご注意ください。

静止画／動画のファイル形式

静止画／動画のファイル形式は以下のとおりです。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	JPG
動画	MPEG-4	mp4
	H.263 baseline	3gp

カメラを起動する

1. **ホーム画面のカメラアイコンまたは > カメラ／ビデオ**
カメラが撮影モードになり、画面が自動的に横表示に切り替わります。

カメラを終了する

1. **カメラの撮影画面 > ホームボタン または戻るボタン**

カメラの撮影画面の見かた

撮影画面の各種アイコンは、画面をタップすると表示されます。しばらくすると、アイコンは消えます。

①カメラ設定スライダー（P.13-5）
ドラッグするとカメラの設定メニューを表示

②フラッシュ
タップするとフラッシュモードを切替

③ズームの拡大率（P.13-3）
タップするとズーム調整バーを表示

④オートフォーカスインジケーター
ピント調整中は白色で表示され、焦点が決まると緑色で表示

⑤アルバムの表示
タップすると、アルバムに保存されている静止画および動画のサムネイルを表示（P.14-2）

撮影モードを切り替える

1. **カメラの撮影画面 ＞ メニューボタン（menu）＞ フォトまたはビデオ**
撮影画面でカメラ設定スライダーをドラッグしても、撮影モードを切り替えられます。

オプティカルジョイスティックを使用する

オプティカルジョイスティックを押して、カメラのシャッターボタンとして使用できます。

レビュー画面のアイコンについて

静止画／動画の撮影後、レビュー画面が表示されます。レビュー画面に表示されるアイコンをタップして、静止画／動画の削除や共有を行えます。

アイコン	項目	説明
	戻る	撮影した静止画／動画を保存して撮影画面に戻ります。
	削除	撮影した静止画／動画を削除します。
	共有	撮影した静止画／動画をメールやBluetooth®で送信したり、SNSにアップロードできます。
	表示	撮影した静止画／動画の確認や編集などができます。

ズームを使う

ズーム機能を使って、撮影する画像を写したい大きさに調整することができます。

1. **カメラの撮影画面 ＞ ズームボタン**
ズーム調節スライダーが表示されます。
2. **撮影画面またはズーム調節スライダーをドラッグして調節**

をタップすると倍率が最大に、をタップすると1倍になります。

静止画を撮影する

1. **ホーム画面のカメラアイコンまたは ＞ カメラ**
撮影モード「フォト」で、静止画撮影画面が表示されます。

■フラッシュを使用する場合

をタップしてフラッシュモードを切り替えます。

：被写体が暗いときに自動的にフラッシュが働きます。

：フラッシュを常にオンにします。

：フラッシュをオフにします。

撮影モード「フォト」で、静止画撮影画面が表示されます。

2. **カメラを被写体に向ける ＞ オプティカルジョイスティック**
オプティカルジョイスティックに触れると、自動的にオートフォーカスが起動します。ピントが合うと「ピピッ」と音が鳴り、フォーカス枠が緑色で表示されます。そのままオプティカルジョイスティックを押すと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。
フォーカス枠はドラッグして移動することができます。

3. **撮影した静止画を保存／利用する**
詳細については、「レビュー画面のアイコンについて」（P.13-3）を参照してください。

注意

- 通話中に撮影する場合、フラッシュは使用できません。

補足

- カメラを起動したままで、約2分間カメラを使用しないと、スリープモードに入ります。

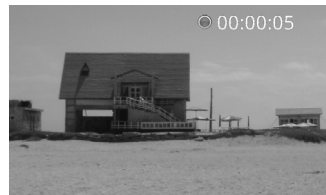
顔検出機能

本機では、人の顔を検出して自動的にフォーカスを当てる「顔検出オートフォーカス」を搭載しています。
顔検出機能は、撮影モードが「フォト」のときにのみ有効です。

動画を撮影する

1. **ホーム画面のカメラアイコン**

2. **メニューボタン（menu）＞ ビデオ**
動画撮影画面が表示されます。

3. **カメラを被写体に向ける ＞ オプティカルジョイスティック**
オプティカルジョイスティックに触れると、自動的にオートフォーカスが起動します。ピントが合うと「ピピッ」と音が鳴り、フォーカス枠が緑色で表示されます。そのままオプティカルジョイスティックを押すと、撮影開始音が鳴り、動画の撮影が開始されます。

4. **オプティカルジョイスティック**
撮影終了音が鳴り、動画の撮影が終了します。

5. **撮影した動画を保存／利用する**
詳細については、「レビュー画面のアイコンについて」（P.13-3）を参照してください。

補足

- ホーム画面で ＞ ビデオをタップしても動画撮影画面が表示されます。
- カメラを起動したままで、約2分間カメラを使用しないと、スリープモードに入ります。

各撮影モードの倍率

ズームは最大2倍まで倍率を調節できますが、撮影モードや解像度、使用するカメラによって、利用できる倍率は以下のように異なります。

撮影モード	解像度	ズームの倍率
フォト 5：3（ワイドスクリーン）	5M（2592×1552）	1倍～2倍
	3M（2048×1216）	
	1M（1280×768）	
	Wide（640×384）	
フォト 4：3（標準フォトサイズ）	5M（2560×1920）	
	3M（2048×1536）	
	2M（1600×1200）	
	Wide（640×480）	
ビデオ	WVGA(800×480)	1倍～2倍
	VGA（640×480）	
	CIF（352×288）	
	QVGA(320×240)	

カメラの設定

静止画・動画撮影では、次のように設定を変更して撮影できます。

静止画や動画の設定を変更する

1. カメラ撮影画面 ＞ メニューボタン（MENU）またはカメラ設定スライダー

アイコン	項目	説明
／	モード	カメラモードを切り替えます。
	露出	スライダーを動かして画像の明るさを-3から+3の範囲で調整します。
	画像のプロパティ	スライダーを動かしてコントラスト、彩度、シャープネスを調整します。
	効果撮影	効果を設定できます。
	設定	ホワイトバランスや解像度などの詳細設定を行います。

■カメラ詳細設定

項目	説明
ホワイトバランス	光源に合わせて設定すると、撮影するときの光源による色調の不自然さを解消できます。
ISO※1	ISOレベルを設定します。光源の少ない場所での撮影にはISOレベルを上げます。
解像度	静止画／動画のサイズを設定します。
ワイドスクリーン※1	撮影画面をワイドスクリーン（5：3）、標準フォトサイズ（4：3）のいずれかに設定します。
エンコードタイプ※2	動画のエンコードタイプをH.263／MPEG4から選択します。
録画の長さ※2	動画の録画制限サイズを1MB／2MB／10秒／30秒／1分／3分／制限なしから設定します。

項目	説明
音声も記録※2	動画撮影時に音声も録音するかどうかを設定します。
画質※1	静止画の画質をスーパーファイン／ファイン／標準から設定します。
セルフタイマー※1	セルフタイマーの時間を設定します。
Geo-tag写真※1	撮影した静止画にGPS位置情報を保存するかどうかを設定します。
測定モード	明るさの測定をスポット／中心エリア／平均から設定します。
レビュー時間	撮影後に、保存／ 利用メニューを表示する時間を設定します（何も操作せず設定した時間が経過すると、自動的に撮影画面に戻ります）。
ちらつき調整	蛍光灯による画面のちらつきの補正について自動／50 Hz／60 Hzから設定します。
オートフォーカス	オートフォーカス機能を使用するかどうかを設定します。
顔検出	顔検出機能を使用するかどうかを設定します。
タイムスタンプ※1	静止画に撮影日時を入れるかどうかを設定します。
グリッド※1	撮影画面にグリッドを表示するかどうかを設定します。
既定にリセット	カメラ設定をお買い上げ時の状態に戻します。

※1：フォトモードのみ
※2：ビデオモードのみ

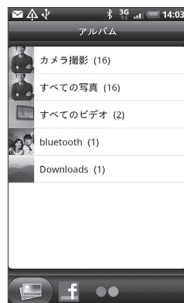
静止画／動画の利用

14

アルバムについて

アルバムでは、カメラで撮影したり、ダウンロードした静止画や動画の表示／再生が行えます。静止画編集のほか、壁紙や連絡先写真として設定したり、友人と静止画を共有することもできます。

アルバムを開く

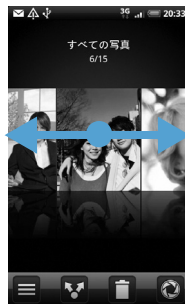
1. [カメラキー] > ギャラリー
2. 静止画／動画アルバムを選択

・カメラ撮影：カメラで撮影した静止画／動画を表示します。
・すべての写真：メモリカードに保存しているすべての静止画を表示します。
・すべてのビデオ：メモリカードに保存しているすべての動画を表示します。
・bluetooth：Bluetooth® 通信で受信した静止画／動画を表示します。
・Downloads：ダウンロードした静止画／動画を表示します。

メモリカードのフォルダ（ディレクトリ）にファイルを保存した場合、個別のアルバムとしてこれらのフォルダが表示されます。

補足

• カメラ画面からアルバムを開いた場合、戻るボタン（[戻る]）を押すとカメラ画面に戻ります。

静止画／動画を再生する

アルバムを開くと、アルバム内の静止画／動画が表示されます。左右にスライドして前後の静止画／動画に切り替えます（フィルムストリップビュー）。静止画／動画をタップすると全画面で表示／再生されます。

フィルムストリップビューのとき、メニューボタン（[MENU]）を押してグリッドビューをタップすると、静止画／動画がサムネイルで表示されます。

メニューボタン（menu）を押してフィルムストリップビューをタップすると、フィルムストリップビューに戻ります。

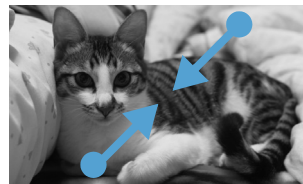
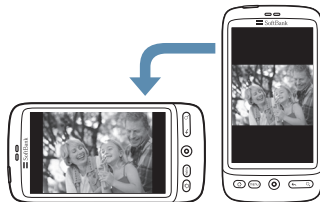
補足

- 静止画／動画を 1 秒以上タップすると、静止画／動画の削除や回転などが行えます。
- 別のアルバムを開くには、☰ をタップして表示するアルバムを選択します。

静止画を回転する

静止画の表示中に本機を倒すと、本機の向きに合わせて静止画が自動的に回転します。

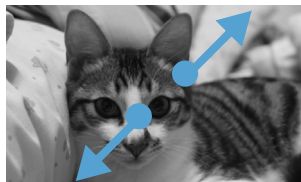
静止画を拡大表示する

タッチパネルをダブルタップすると、静止画が拡大表示されます。もう一度ダブルタップすると、元の大きさに戻ります。
タッチパネルを2本の指でつまんだり、広げたりしても、静止画を拡大／縮小できます。

ズームイン

ズームアウト

動画再生画面

動画は横向き表示で再生されます。コントロールアイコンを使用して、動画の再生、一時停止、停止を操作できます。

フルスクリーンモードで再生中に □ をタップすると、動画サイズで再生します。

SNS上の静止画を見る

アルバムでは、FacebookやFlickrのSNSにアップロードした静止画を見ることができます。

Facebookにアップロードした静止画を見る

Facebookの写真を見るには、Facebookアカウントにログインする必要があります。

1. ![] > ギャラリー > Facebookタブ
2. アカウントを選択
   Facebookにアップロードしている静止画の一覧が表示されます。アルバム内の静止画と同様の方法で静止画を見ることができます。

Flickrにアップロードした静止画を見る

Flickrの写真を見るには、Flickrアカウントにログインする必要があります。

1. ![] > ギャラリー > Flickrタブ
   Flickrアカウントに接続するための認証を要求される場合があります。
2. アカウントを選択
   Flickrにアップロードしている静止画の一覧が表示されます。アルバム内の静止画と同様の方法で静止画を見ることができます。

静止画を加工する

静止画を回転する

1. ![] > ギャラリー > 静止画アルバムを選択
2. 回転したい静止画を1秒以上タップ
3. 回転 > 右に回転または左に回転
   静止画を全画面表示しているときも、メニューボタン（menu）を押して回転 > 右に回転または左に回転をタップします。

静止画をトリミングする

1. ![] > ギャラリー > 静止画アルバムを選択
2. トリミングしたい静止画を1秒以上タップ

3. トリミング ＞ トリミング枠をドラッグしてサイズ／位置を選択

4. 保存

補足

- トリミングした写真はメモリカードにコピーして保存されます。編集前の静止画は変更されません。
- 静止画を全画面表示しているときも、メニューボタン（MENU）を押してその他 ＞ トリミングをタップします。

静止画／動画を共有する

静止画／動画をメールやBluetooth®で送信できます、静止画をSNSにアップロードしたり、動画をYouTubeにアップロードして共有することもできます。

静止画／動画をメールに添付して送信する

静止画／動画をインターネットメールまたはGmailメールに添付して送信することができます。

1. ＞ ギャラリー
2. アルバムを選択 ＞ ＞ Gmailまたはメール
3. 対象の静止画／動画を選択 ＞ 次へ
4. メールを作成 ＞ 送信

静止画／動画をBluetooth®で転送する

静止画／動画をBluetooth®通信でほかのデバイスに転送することができます。

1. ＞ ギャラリー
2. アルバムを選択 ＞ ＞ Bluetooth
3. 対象の静止画／動画を選択 ＞ 次へ
4. デバイス検索 ＞ デバイスを選択

Facebookで静止画を共有する

■Facebookを使用する場合

1. ＞ ギャラリー
2. 静止画のアルバムを選択 ＞ 対象の静止画を表示
3. ＞ Facebook
4. キャプションを入力 ＞ アップロード

■Facebook for HTC Senseを使用する場合

1. ＞ ギャラリー
2. 静止画のアルバムを選択 ＞ ＞ Facebook for HTC Sense
3. 対象の静止画を選択 ＞ 次へ
4. キャプションを入力 ＞ アップロード

Flickrで静止画を共有する

1. ［ボタン］ > ギャラリー
2. 静止画のアルバムを選択 > ［アイコン］ > Flickr
3. 対象の静止画を選択 > 次へ
4. キャプションを入力 > アップロード

Peepで静止画を共有する

1. ［ボタン］ > ギャラリー
2. 静止画のアルバムを選択 > 対象の静止画を表示
3. ［アイコン］ > Peep
   静止画がアップロードされ、URLが表示されます。
4. つぶやきを入力 > 更新

Picasaに写真をアップロードする

写真をPicasa写真管理サービスにアップロードするには、Googleアカウントにサインインする必要があります。

1. ［ボタン］ > ギャラリー
2. 静止画のアルバムを選択 > ［アイコン］ > Picasa
3. 対象の静止画を選択 > 次へ
4. アップロードしたいアルバムを選択 > アップロード
   ［＋］をタップするとアップロード用写真の新規アルバムを作成できます。

YouTubeで動画を共有する

YouTubeに動画をアップロードして動画を共有することができます。アップロードの前に、YouTubeアカウントで本機からサインインする必要があります。

1. ［ボタン］ > ギャラリー
2. 動画のアルバムを選択 > ［アイコン］ > YouTube
3. 対象の動画を選択 > 次へ
4. アカウントを選択 > プライバシーを設定 > 説明・タグを入力
5. アップロード

音楽再生 15

音楽を再生する

メモリカードに保存された音楽ファイルを再生します。

● 次の音楽ファイル形式に対応しています。MP3、M4A、AAC、AMR、WMA、MID、WAV、OGG

注意

- 再生可能な音楽ファイルは、メモリカードに保存されている音楽ファイルのみです。パソコンなどに保存している音楽ファイルを、あらかじめメモリカードにコピーしておいてください。

1. > 音楽

音楽再生画面が表示されます。

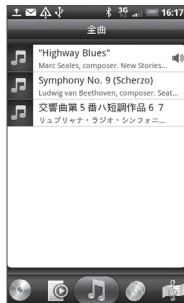
①	タップするとシャッフル再生のオン／オフが切り替わります。
②	ドラッグすると楽曲の任意の位置にジャンプします。
③	タップするとライブラリが表示されます。
④	タップするとリピート再生モードが切り替わります。
⑤	タップすると再生画面とプレイリストが切り替わります。
⑥	タップするとプレイリストの前の楽曲を再生します。
⑦	タップすると楽曲を再生／一時停止ができます。
⑧	タップするとプレイリストの次の楽曲を再生します。

再生中にスリープモードになり画面表示が消えた場合も、電源ボタン（⏻）を押すとロック解除画面で操作できます。ロック解除画面でコントロールボタンが表示されていない場合は、画面をタップします。

補足

- メディアの音量を調整するには、音量大ボタン／音量小ボタンを押します。
- マイクロフォン付きイヤホンで音楽を視聴している場合は、オプティカルジョイスティックを押して再生と停止を切り替えます。前後ボタンを押して前後の楽曲を再生します。

ライブラリを利用する

楽曲を再生中に ☰ をタップすると、ミュージックライブラリが表示されます。

ライブラリでは、楽曲がアルバム、アーティスト、ジャンル、作曲家などのカテゴリごとに表示することができます。画面下のカテゴリタブをタップして楽曲を選んでください。

プレイリストを利用する

プレイリストに楽曲を登録すると、お好みの楽曲をお好みの順番で再生することができます。

1. ◉ > 音楽 > ☰
2. プレイリストタブ > プレイリストを追加
3. プレイリスト名を入力 > プレイリストに曲を追加
4. カテゴリを選択
   曲タブを表示すると、メモリカード内のすべての楽曲リストが表示されます。
5. 対象の楽曲にチェックを付ける > 追加 > 保存

プレイリストを再生する

1. ライブラリ画面 > プレイリストタブ
2. 対象のプレイリストを選択 > 楽曲を選択

プレイリストに楽曲を追加する

1. ライブラリ画面 > プレイリストタブ
2. 対象のプレイリストを選択 > メニューボタン（menu）> 曲を追加
3. カテゴリを選択 > 楽曲を選択 > 追加

補足

- 楽曲を再生中にメニューボタン（menu）を押し、プレイリストに追加をタップしてプレイリストを選択すると、再生中の楽曲をプレイリストに追加できます。

プレイリストの再生順を変更する

1. ライブラリ画面 > プレイリストタブ
2. 対象のプレイリストを選択 > メニューボタン（menu）> 順序変更
3. 対象の楽曲の ☰ をタップしたまま移動したい場所へドラッグ
4. 完了

プレイリストの楽曲を削除する

1. ライブラリ画面 > プレイリストタブ
2. 対象のプレイリストを選択 > メニューボタン（menu）> 曲を削除
3. 対象の楽曲を選択 > 削除

プレイリストを削除する

1. ライブラリ画面 > プレイリストタブ
2. メニューボタン（MENU）> プレイリストを削除
3. 対象のプレイリストを選択 > 削除

着信音に設定する

楽曲を着信音として使用することができます。

1. > 音楽 >
2. 対象の楽曲を選択 > メニューボタン（MENU）> 着信音に設定
3. 電話の着信音

■連絡先の着信音に設定する場合

> 連絡先の着信音 > 対象の連絡先にチェックを付ける > 保存

補足

- 設定した着信音を確認する場合は、ホーム画面でメニューボタン（MENU）を押して設定 > 音とディスプレイ > 着信音をタップします。

地図機能 16

Googleマップを利用する

Googleマップを利用すれば、現在の位置情報を確認したり、目的地への詳しい道案内を表示することができます。また、興味のある場所を検索して、地図、航空写真を表示することができます。

注意

- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（3G/GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップでは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

位置情報を有効にする

1. **メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ 位置情報**

2. **「ワイヤレスネットワークを使用」と「GPS機能を使用」にチェックを付ける**

補足

- GPS機能を使用をオンにすると詳細な住所を表示することができますが、これには視界が良好である必要があり、電池パックの消耗を早くします。電池パックの消耗を軽減する場合はオフにしてください。

Googleマップを表示する

現在地を表示する

1. **［ホーム］＞ マップ**

2. **メニューボタン（menu）＞ 現在地**

現在地が地図上で青い点の点滅で表示されます。

- 移動したい方向に画面上で指をスライドさせたり、オプティカルジョイスティックをなぞって、地図の他のエリアを表示することができます。
- ［縮小］／［拡大］をタップして地図表示の拡大／縮小ができます。
- 地図上で1秒以上タップするとその場所の住所や追加情報が表示されます。場所によっては、ストリートビューのサムネイルも表示されます。

地図レイヤを利用する

地図表示に道路の渋滞情報を追加したり、航空写真表示に切り替えたりできます。

1. **地図表示中 ＞ メニューボタン（menu）**

2. **レイヤ ＞ 渋滞状況／航空写真／バズ／Latitude**

■渋滞状況を表示した場合

リアルタイムの渋滞状況を道路の色によって確認できます。ただし、渋滞状況が提供されていないエリアがあります。

■航空写真表示にした場合

Google Earthマッピングサービスと同じ衛星データが表示されます。ただし、航空写真はリアルタイムの画像ではありません。

バズを表示すると、友達や近くにいる人が投稿したバズ(コメント)を表示できます。Latitudeを利用した場合、友人のいる場所を地図上で確認できます（P.16-4）。

さらに他の地図レイヤを表示するには**その他のレイヤ**をタップします。

■地図レイヤを初期表示に戻す場合

> **レイヤ** > **地図をクリア**

場所を検索する

1. > **マップ**

2. メニューボタン（menu）> 検索 > 検索する場所を入力

住所、都市、ビジネスの種類や施設（例：ロンドン　美術館）を入力できます。

情報を入力すると、以前に検索した場所がリスト表示されます。リストの場所をタップして地図を表示することもできます。

3.

①	タップすると検索結果画面に戻ります。
②	タップすると検索結果画面に前後の場所の位置が表示されます。

4. 地図上の吹き出しをタップして場所の詳細情報とオプションを開く

目的地までの経路を調べる

Googleマップを使用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1. 地図表示中 > メニューボタン（menu）> 経路

2. 出発地を入力 > 目的地を入力

①	出発地
②	目的地
③	交通手段

3. 目的地までの交通手段（車／交通機関または徒歩）を選択 > 実行

目的地への道案内がリストに表示されます。リスト画面の**地図で見る**をタップすると、地図上に道案内が表示されます。

経路の表示が終了したら、メニューボタン（menu）を押してその他 > 地図をクリアをタップし、地図をリセットします。目的地は検索履歴へ自動的に保存されます。

Google Latitudeを利用する

Google Latitudeを利用すると、友人がいる場所を地図上で確認したり、ステータスメッセージを共有したりできます。Latitude上ではSMSやメールを送ったり、電話をかけたり、友人の現在地への経路を検索したりできます。位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1. **地図表示中 > メニューボタン（menu）> Latitudeに参加**
2. **Googleのプライバシーポリシーを読み同意する**
   一度Latitudeに参加すると、メニュー項目はLatitudeに変わります。

Latitudeを開く

Latitudeに参加すると、画面を開いて友人の現在地や更新情報を確認することができます。

1. **地図表示中 > メニューボタン（menu）> Latitude**

友人を招待して位置情報を共有する

Latitudeに参加すると、自分の位置情報を友人と共有することができます。自分が招待した友人や自分を招待した友人にだけ位置情報を見せることができます。

1. **地図表示中 > メニューボタン（menu）> Latitude**
2. **メニューボタン（menu）> 友人を追加 > 連絡先から選択 > 対象の連絡先にチェックを付ける**

■メールアドレスを入力する場合

> メールアドレスから追加 > メールアドレスを入力

3. **友人を追加**
   友人がすでにLatitudeを利用している場合は、友人はLatitude上でメールリクエストや通知を受け取ります。
   Latitudeに参加していない場合は、友人は、GoogleアカウントでLatitudeに参加するよう招待するメールリクエストを受け取ります。

招待に応じる

友人からLatitudeで位置情報を共有する招待を受けたときは、次の中から回答を選ぶことができます。

受け入れて自分の現在地も教える	お互いの位置情報を見ることができます。
受け入れて自分の現在地はこの友人には教えない	自分は友人の位置情報を見ることができますが、友人からは自分の位置情報を見ることができません。
いいえ	お互いの位置情報は共有されません。

友人の現在地を確認する

友人の現在地を地図またはリストで確認することができます。
マップを開くと、友人の現在地が表示されます。友人はそれぞれ写真アイコンで表示され、おおよその位置に矢印が示されます。友人が都市レベルの位置情報の共有を選択している場合は、その友人のアイコンには矢印がなく、都市の中央にアイコンが表示されます。
友人がGoogleトークを利用している場合は、友人の写真の下に丸いアイコンが現れ、オンラインステータス（オンライン、取り込み中など）が表示されます。
友人のプロフィールを見たり接続したりするには、写真をタップします。友人の名前が吹き出しに表示されます。吹き出しをタップすると、画面が開いて、友人の詳細情報や接続オプションを見ることができます。
Latitudeを開くと、Latitudeの友人リストが、最後に取得された位置情報、ステータスなどの概要とともに表示されます。リストの友人をタップすると、画面が開いて、友人の詳細情報や接続オプションを見ることができます。

友人との接続／接続の管理

地図上で友人の連絡先情報の吹き出しをタップするか、リスト表示された友人をタップして、友人のプロフィールを開きます。プロフィール画面で、友人と通信したりプライバシー設定をしたりすることができます。

地図で見る	友人の現在地を地図上で表示します。
（友人名）に知らせる	他の友人も見ることができるメッセージを友人に送ります。
Googleトークでチャット	その友人に対してGoogleトークのチャットウィンドウを開きます。
メールを送信	友人あてのメッセージを送信するGmailを開きます。
経路を検索	友人の現在地までのルートを検索します。
この友人には現在地を教えない	Latitude、リスト、または地図でこの友人と位置情報の共有を停止します。再びこの友人と位置情報を共有するには、**この友人に現在地を教える**をタップします。
現在地の都市名のみ共有	都市レベルの現在地のみ共有し、番地レベルでは共有しません。友人側では、写真アイコンは現在地の都市の中央に表示されます。再び詳細な位置情報を共有するには、**最新の現在地を共有**をタップします。
削除	友人をリストから削除し、位置情報の共有を完全に停止します。

共有情報を管理する

友人への見え方や見える時間を管理することができます。Googleアカウントには、Latitudeに最後に送られた位置情報だけが保存されます。Latitudeを停止したり、情報を非公開にしている場合は、位置情報は保存されません。

1. Latitudeを開く ＞ 自分の名前を選択 ＞ **プライバシー設定を編集**

現在地を自動検出	移動すると、Latitudeが位置を自動的に検出し位置情報を更新します。更新の頻度は、電池パックの充電レベルやいつ移動したかなど、いくつかの要素をもとに決められます。
現在地を設定	アドレスを入力したり連絡先から選んだりした友人と共有する位置情報を設定します。地図上の地点を指定するか、Latitudeで再度現在地情報の共有を行います。
現在地を非表示	すべての友人に位置情報を公開しません。

Latitudeを停止	Latitudeを停止し、位置情報やステータスの共有を停止します。Latitudeにはいつでも再び参加できます。

HTC Footprintsを利用する

HTC Footprintsでは、旅行やイベントやレストランなどで静止画を撮影し、その撮影場所の位置情報、電話番号やメモなど、次回訪れる際に大変役立つ情報を記録できます。

Footprintsを作成する

1. > Footprints > 新規Footprints

GPS機能がオフのときは、確認画面で設定をタップしてGPS機能をオンに設定してください。

2. **静止画を撮影**

現在位置を検索します。現在位置を検索できない場合はマップで探すをタップしてGoogleマップで現在地を選択してください。

3. 完了

補足

- 操作3の前にメニューボタン（menu）を押して編集をタップすると、Footprintsの名前やカテゴリ、電話番号やWebサイトなどを保存することができます。音声メモやマイメモも保存することができます。

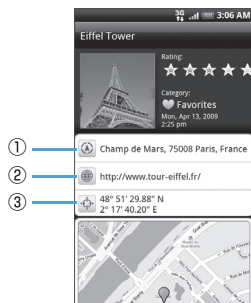
Footprintsを表示する

1. > Footprints

2. **カテゴリタブを選択**

カテゴリタブ

3. **対象のFootprintsを選択**

Footprintsの詳細情報が表示されます。

①	タップするとGoogleマップで住所を検索します。
②	タップするとWebサイトを表示します。
③	GoogleマップのGPS位置情報が表示されます。

Footprintsを編集／削除する

1. ［アプリ］ > Footprints

2. **カテゴリタブを選択 > 対象のFootprintを1秒以上タップ > 編集または削除**

Footprintsをエクスポートする

作成したFootprintsをメモリカードにバックアップすることができます。パソコンのGoogle Earthのような他のアプリケーションにエクスポートすることもできます。

- エクスポートされたFootprintsはメモリカードの「Footprints_Data」フォルダに「.kmz」形式で保存されます。

1. ［アプリ］ > Footprints > **エクスポートするカテゴリタブを選択**

すべてのFootprintsを選択すると、すべてのFootprintsがエクスポートされます。

2. **メニューボタン（menu）> エクスポート**

■**Footprints 詳細画面からエクスポートする場合**

> ［アプリ］ > Footprints > カテゴリタブを選択>対象のFootprintを1秒以上タップ > エクスポート

3. OK

Footprintsをインポートする

メモリカードにバックアップしたFootprintsを本機にインポートすることができます。他のアプリケーションで作成された「.kmz」形式のファイルや、Footprintsで使用する静止画もインポートすることができます。

1. ［アプリ］ > Footprints

2. **メニューボタン（menu）> インポート > Footprintsデータ > 対象のFootprintsを選択**

■**Footprintsで使用する静止画をインポートする場合**

> メニューボタン（menu）> インポート > 画像 > 対象の静止画を選択 > 保存

その他のアプリケーション 17

YouTube

YouTubeとはさまざまな動画コンテンツを視聴したり、アップロードしたりできるWebサイトです。本機では動画コンテンツの視聴のみ行うことができます。

YouTubeを開く

1. > YouTube
   YouTubeサイトに接続し、動画コンテンツ一覧画面が表示されます。

2. 対象の動画コンテンツを選択
   動画コンテンツが再生されます。

YouTubeを閉じる

1. YouTube画面 > ホームボタン（ ）または戻るボタン（ ）

動画コンテンツ再生画面の見かた

通常は動画のみ再生されます。画面をタップすると、タイトルや再生時間、コントロールアイコンが表示され、動画の操作を行うことができます。

動画を検索する

1. YouTube一覧画面 > メニューボタン（menu） > 検索
2. 検索キーワードを入力 >
   ステータスバーの下に検索結果数が表示される。
3. 再生する動画を選択

検索履歴を消去する

1. YouTube一覧画面 > メニューボタン（menu） > 設定
2. 検索履歴を消去 > OK

PDFビューア

PDFビューアでは、メモリカードに保存しているPDFファイルを開くことができます。

1. ▭ > PDFビューア

2. **対象のファイルを選択**
ファイルが開きます。
ページをパンして見たい場所を表示します。

PDFビューアのメニュー

PDFビューアでは、ファイル表示中にメニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

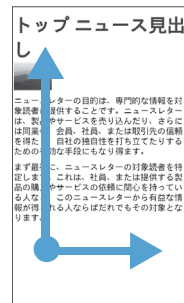
項目	説明
開く	別のファイルを開くことができます。
ツールバー／ツールバーOFF	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
表示	標準表示／全ページ表示を切り替えます。
ズーム	表示を拡大、縮小します。
切り替え	指定したページに移動します。
その他	文字列の検索やプロパティ／バージョン情報を表示します。

本機を倒すと、PDFファイル表示が自動的に回転します。

オフィス文書を見る

Quickofficeでは、メモリカードに保存しているMicrosoft Office Word、Microsoft Office Excel、Microsoft Office PowerPointファイルを開くことができます。

1. ▭ > Quickoffice

2. **対象のファイルを選択**
ファイルが開きます。
ページをパンして見たい場所を表示します。

■オフィス文書を並べ替える場合

＞ メニューボタン（menu）＞ 並べ替え ＞ 条件を選択

Quickofficeでは、ファイル表示中に以下の操作ができます。

・タッチパネルを2本の指でつまんだり、広げたりして、ファイルの表示を拡大／縮小できます。
・Excelファイルでは、メニューボタン（menu）を押してワークシートをタップすると、表示するワークシートを選択することができます。
・Wordドキュメント、PowerPointファイルでは、文中のURLをタップすると、Webページを表示することができます。
・Wordドキュメントでは、タッチパネルをダブルタップすると、標準表示と全ページ表示とを切り替えることができます。

注意

• Quickofficeでのオフィス文書の表示内容は、パソコン上での表示と異なる場合があります。

株価を見る

株価では、最新の株価情報を本機から手軽に見ることができます。

①	株価と株式市場の一覧を表示します。
②	タップすると最新の株価情報に更新します。
③	タップすると株価や株式指標を表示する銘柄を追加できます。

株価／株式指標を追加する

1. ＞ 株価 ＞ ＋
2. 会社名や記号を入力 ＞
3. 追加したい銘柄を選択

株価リストの表示順を変更する

1. ［ホームボタン］ > 株価
2. メニューボタン（menu）> 再配列
3. 対象の銘柄の ☰ をタップしたまま移動したい場所へドラッグ
4. 完了

株価／株式指標を削除する

1. ［ホームボタン］ > 株価
2. メニューボタン（menu）> 削除
3. 対象の銘柄を選択 > 削除

株式情報を自動的に更新する

1. ［ホームボタン］ > 株価
2. メニューボタン（menu）> 設定
3. データを自動的に同期にチェックを付ける

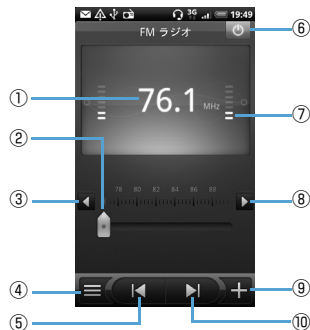
■株式情報を手動で更新する場合
>メニューボタン（menu）>更新

FMラジオ

FMラジオはイヤホンを接続しているときのみ聴くことができます。

FMラジオを聴く

1. ［ホームボタン］ > FMラジオ
FMラジオが起動します。
2. ［|◀］／［▶|］をタップして自動選局する

FMラジオ画面の見かた

①	現在の放送局
②	ドラッグすると放送局の周波数を変更できます。
③	タップすると周波数を0.1MHｚずつ下げます。
④	タップするとプリセット放送局一覧を表示します。
⑤	タップすると１つ前の放送局を検索します。
⑥	タップするとFMラジオを終了します。
⑦	ラジオ電波の強さを表示します。
⑧	タップすると周波数を0.1MHｚずつ上げます。
⑨	タップすると現在の放送局をプリセットとして登録します。
⑩	タップすると１つ次の放送局を検索します。

FMラジオをバックグラウンドで聴く

1. FMラジオを起動中 > 戻るボタン（↩）

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーで録音／再生する

音声を録音する

1. > ボイスレコーダー
2.
   録音が開始され、録音時間が表示されます。
3.
   録音を終了します。
   録音した音声をメールやBluetooth®で送信するときは録音後、 をタップします。

音声を再生する

1. >ボイスレコーダー>
2. 対象の音声ファイルを選択
   録音されている内容が再生されます。

音声を着信音に設定する

1. > ボイスレコーダー >
2. 対象の音声を1秒以上タップ > 着信音に設定

音声の名前を変更する

1. > ボイスレコーダー >
2. 対象の音声を1秒以上タップ > 名前の変更
3. 名前を入力 > 保存

音声を削除する

1. > ボイスレコーダー >
2. 対象の音声を1秒以上タップ > 削除 > OK

Androidマーケットの利用

Androidマーケットで公開されているアプリケーションを本機にインストールして利用できます。

注意

- アプリケーションのインストールは、自己責任で行ってください。万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。

Androidマーケットを開く

1. > マーケット
   初回起動時はマーケット利用規約が表示されるので同意するをタップします。

アプリケーションを検索しインストールする

1. Androidマーケットを開く
2. アプリケーションを検索する

アプリケーションカテゴリによる絞り込み、キーワード検索などによって目的のアプリケーションを検索できます。

3. **インストールしたいアプリケーション名をタップし、詳細画面で機能やユーザーコメントなどを確認する**

4. インストール

本機のデータや機能にアクセスするアプリケーションを選択した場合は、どのデータまたは機能を利用するかを示す画面が表示されるので、確認してOKをタップします。

ダウンロードが始まります。

5. **ダウンロード状況を確認する**

ダウンロードが終了すると、ステータスバーの通知領域に が表示されます。

補足

- インストールしたアプリケーションは、自動的にアプリケーションタブに登録されます。

重要

- 操作 3 で有料アプリケーションを選択した場合は、操作4でインストール(ダウンロード)の前に購入の操作を行います。購入には、「Googleチェックアウト」サービスを利用するため、事前にGoogleチェックアウトサービスの契約が必要です。なお、アプリケーションの購入は自己責任で行ってください。アプリケーションの購入に際して自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

アプリケーションを更新・削除する

1. **Androidマーケットを開く**

2. ダウンロード履歴**タブ**

過去にダウンロードしたアプリケーションが一覧表示されます。

アップデートが存在する場合はアップデートが利用可能な旨が表示されます。

3. **更新または削除したいアプリケーションを選択**

■**更新する場合**

> アップデート

■**削除する場合**

> アンインストール

4. OK

ニュースを読む

本機で最新のニュースをチェックできます。RSSでニュースやブログなど各種のWebサイトの更新情報を手早く収集できます。

①	サブスクリプションタブで購読しているチャンネルが表示されます。タップするとニュース内容を読むことができます。
②	スター付きタブでスター付きに設定されているニュースが表示されます。チャンネルを選択してニュースを読みます。
③	キーワードタブで登録しているキーワードにマッチしたニュースが表示されます。

ニュースを購読する

1. ［ボタン］ > News
2. サブスクリプションタブ > フィードを追加
3. カテゴリを選択

■URLを入力してニュースを購読する

> URLから追加 > URLを入力 > 追加

さらに検索をタップすると、キーワードを入力して別のチャンネルを検索できます。

Googleニュースフィードを追加をタップすると、Googleニュースからニュースを読むことができます。

4. 対象のチャンネルにチェックを付ける > 追加

注意

- Googleニュースフィードの追加は、日本国内ではご利用になれません。

ニュースを更新する間隔を設定する

1. ［ボタン］ > News > サブスクリプションタブ
2. メニューボタン（menu）> 設定 > 更新頻度
3. 更新頻度を選択

ニュースを読む

1. ［ボタン］ > News > サブスクリプションタブ
2. チャンネルを選択 > ニュースを選択

ニュースの全文を読む場合は全文を読むをタップします。

■前後のニュースに進む場合

> ［アイコン］／［アイコン］

■ニュース一覧を表示する場合

> ［アイコン］

■ニュースをSMS／メールで送信する場合

> ［アイコン］ > メッセージ／メール／Gmail

■ニュース一覧から削除する場合

> ［アイコン］

お気に入りのニュースを設定する

1. ［ボタン］ > News > サブスクリプションタブ
2. チャンネルを選択 > ニュースを選択
3. ☆をタップ

もう一度★をタップするとお気に入り設定が解除されます。

キーワードを登録する

キーワードを登録しておくと、キーワードに関連したニュースのみをまとめて読むことができます。

1. ［ボタン］ > News > キーワードタブ
2. キーワードを追加 > キーワードを入力 > 追加

キーワードタブで追加されたキーワードにマッチしたニュースが表示されます。

18 セキュリティ

ロック機能

USIMカードを本機に取り付けて電源を入れたときに、PINコードを入力しないと本機を使用できないようにすることができます（PINコード設定）。また、本機を操作しない状態が一定時間続くとき、他の人が使用できないように画面をロックすることもできます（スクリーンロック）。

PINコード設定

PINコードの有効／無効の設定や、PINコードの変更を行います。

● PINコードの詳細については、P.20-3を参照してください。

PINコードを有効にする

USIMカードを本機に取り付けて電源を入れたときに、PINコードを入力するように設定します。

1. ［ボタン］ > 設定 > セキュリティ > USIMカードのロック
2. 「USIMカードをロック」にチェックを付ける
3. PINコードを入力 > OK
   PINコードが有効になります。

補足

• PIN コードを無効にする場合は、［ボタン］ > 設定 > セキュリティ > USIMカードのロック >「USIMカードをロック」のチェックを外し、PINコードを入力してください。

PINコードを変更する

PINコードを変更します。

● PINコードは「USIMカードをロック」にチェックが付いている場合のみ変更できます。

1. ［ボタン］ > 設定 > セキュリティ > USIMカードのロック > PINの変更
2. 古い暗証番号を入力 > OK
3. 新しい暗証番号を入力 > 新しい暗証番号をもう一度入力
4. OK
   PINコードが変更されます。

スクリーンロックを使う

画面をロックしたり、起動時やスリープモードまたはスクリーンオフ復帰時に画面ロック解除パターンを設定することにより、データをさらに安全に保護できます。

画面をロックする

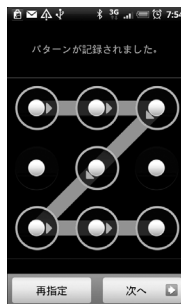
電源ボタン（ ⏻ ）を押します。画面をロックすると、本機をバッグ、財布、またはポケットに入れる際に、誤って画面にタッチしてしまうことを防止できます。

補足

• 画面のロック解除をするには、電源ボタン（ ⏻ ）を押して画面ロック解除パターンを入力します。

画面ロック解除パターンを作成する

画面ロック解除パターンを作成すると、本機のセキュリティを強化できます。有効時には、画面上に正しいロック解除パターンを描き、操作キーとタッチパネルのロックを解除してください。

1. メニューボタン（menu）> 設定
2. セキュリティ > ロック解除パターン設定 > 次へ > 次へ
3. 垂直、水平、あるいは対角線方向に少なくとも4つのドットを接続して、画面ロック解除パターンを描く

パターンを作成するには、指を画面上でスライドさせる必要があります。個々のドットをタップすることがないようにしてください。

4. 次へ
5. 画面ロック解除パターンを再度描く > 確認

補足

• ロック解除時に、ロック解除パターンが画面に表示されないようにしたい場合には、「指定時にパターンを表示」のチェックを外してください。
• ロック解除パターンを変更するには、メニューボタン（menu）を押し、設定 > セキュリティ > ロック解除パターンを変更をタップします。
画面上でロック解除パターンを描くことに5回失敗すると、再試行できるようになるまで、30秒待つように指示されます。画面ロック解除パターンを忘れた場合、パターンを忘れた場合をタップします。
Googleアカウント名とパスワードを使ってサインインし、ホーム画面が表示される前に、新しいロック解除パターンを作成するよう指示されます。

19 設定と管理

本機の設定を変更する

以下の設定項目から、本機の設定や管理を行うことができます。

項目	説明
個人設定	シーンの選択、ホーム画面やロック解除画面の壁紙設定、既定の着信音の設定を行います。
無線とネットワーク	Wi-FiやBluetooth®などの無線接続、機内モード※、ローミングやネットワークなどを設定します。
通話設定	留守番電話や転送電話などのオプションサービスを設定します。
音とディスプレイ	通話や通知の着信音設定、画面の明るさや画面のタイムアウト時間などの表示設定を行います。
アカウントと同期	SNSやGoogleアカウント、同期の設定を行います。
位置情報	位置情報を取得するために、ワイヤレスネットワーク、GPS機能のオン／オフを設定します。
検索	連絡先やSMS／メールなど本機内の検索や、Web検索の設定を行います。
プライバシー	データのバックアップやリセット、現在地位置情報の利用許可の設定を行います。
PCに接続	本機とパソコン接続時の動作を設定します。
セキュリティ	画面ロック解除パターン設定やPINロック設定を行います。
アプリケーション	インストールしたアプリケーションや実行中のタスクの管理などを行います。
SDカードと本体のメモリ	メモリカードの空き容量の確認やフォーマットなどを行います。
日時設定	日付、時刻、時間帯、日付・時刻フォーマットを設定します。
言語とキーボード	オペレーションシステムの言語、スクリーンキーボードの設定、文字変換や辞書の設定を行います。
ユーザー補助	ユーザー補助プラグインを設定します。
テキスト読み上げ	サンプル再生や音声データのインストール、読み上げ速度や読み上げ言語を設定します。本機能は、地域／言語が英語に設定されている場合に利用することができます。
この携帯電話について	ネットワーク種別、電池パック残量、ネットワーク名、アプリケーションや電池を使用している操作など、本機のステータスを見ることができます。法的情報やソフトウェアバージョンを見ることもできます。

※ 機内モードを設定すると、電話、Wi-Fi、Bluetooth®など電波を発する機能はすべて無効となります。ただし、航空機内でのご使用については乗務員にご確認ください。

画面設定

画面の明るさを手動で変更する

1. メニューボタン(menu) > 設定 > 音とディスプレイ
2. 輝度 > 「明るさを自動調整」のチェックを外す
3. 明るさを調節 > OK

消灯するまでの時間を変更する

何も操作しない時間が続いた場合、自動的に画面の表示が消えるように設定できます。

1. メニューボタン(menu) > 設定 > 音とディスプレイ
2. 省電力 > 画面の表示が消える時間を選択

補足

- 画面をすぐに消すには、電源ボタン(⏻)を押します。

画面が自動回転しないように設定する

1. メニューボタン(menu) > 設定 > 音とディスプレイ
2. 「画面の向き」のチェックを外す

G-Sensorを調節する

G-Sensorは本機の角度を検出するセンサーを調節できます。本機の向きに合わせて静止画やWeb ページの表示を回転させたり、Teeterでボールを転がしたりするときなどにこのセンサーが使われています。誤差があるなど、正しく動作しない場合に調整します。

1. メニューボタン(menu) > 設定 > 音とディスプレイ
2. G-Sensorの調節 > 本機を机の上など平坦な場所に置く > キャリブレート > OK

着信/音設定

着信音を変更する

1. メニューボタン(menu) > 設定 > 音とディスプレイ
2. 着信音 > 着信音を選択
   選択すると、短い着信音が再生されます。
3. ON

サウンドプロファイルを設定する

本機をマナーモードまたはサイレントモードに切り替えることができます。

1. メニューボタン(menu) > 設定 > 音とディスプレイ
2. モード設定 > プロファイルを選択

画面操作時の効果音を設定する

画面操作時の効果音を設定できます。

1. メニューボタン(menu) > 設定 > 音とディスプレイ
2. 「選択の効果音」にチェックを付ける/チェックを外す

通知音を設定する

新着通知を受信時の通知音を設定できます。

1. メニューボタン（menu）> 設定 > 音とディスプレイ
2. 通知音 > 通知音を選択 > OK

言語設定

本機のオペレーティングシステムの言語を変更できます。

1. メニューボタン（menu）> 設定
2. 言語とキーボード > 言語選択 > Englishまたは日本語

電源管理

バッテリーを節約して長時間使用するために、以下の状態で本機を使用してください。

- 使用していないときは、Bluetooth®やWi-Fiなどのワイヤレス機能をオフにします（P.11-2、P.12-2）。
- GPS機能をオフにします（P.16-2）。
- 画面の明るさを暗くします（P.19-3）。
- アニメーション表示をオフにします（P.2-3）。
- ブラウザの使用を抑えます。
- 長時間の通話やカメラ使用を避けます。
- 長期間電池パックを充電できないときは、予備の電池パックを用意します。
- 電池パックを十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、新しい電池パックに交換してください。

GSMネットワークで本機を使用する

インターネット接続を行わない場合は、GSMネットワーク対応の通信事業者に切り替えると、バッテリーの消耗が少なくより長く通話ができます。

- GSMネットワークでの本機の利用が可能なときのみ有効です。

1. メニューボタン（menu）> 設定 > 無線とネットワーク
2. モバイルネットワーク設定 > ネットワークモード > GSMのみ

電池パック使用状況を確認する

1. メニューボタン（menu）> 設定 > この携帯電話について > バッテリー

メモリ管理

メモリ残量を確認する

本体メモリおよびメモリカードのメモリ情報を確認できます。

1. > 設定 > SDカードと本体のメモリ
   本体メモリとメモリカードのメモリ情報を確認できます。

メモリに関するご注意

本体メモリの空き容量が0.5Mバイト以下になると、本機の動作が不安定になります。空き容量が少なくなった場合は、「メモリの空き容量を確保する」（P.19-5）を参照いただき、不要なデータやアプリケーションを削除してください。

メモリの空き容量を確保する

アプリケーションキャッシュとデータをクリア

1. メニューボタン（menu）> 設定 > アプリケーション
2. アプリケーションの管理 > キャッシュ／データを削除したいアプリケーションを選択
   並び替えやフィルタオプションを利用するにはメニューボタン（menu）を押します。
3. キャッシュを消去／データを消去

アプリケーションをアンインストールする

Androidマーケット以外から入手したアプリケーションをアンインストールします。本機にプレインストールされているアプリケーションはアンインストールできません。

1. メニューボタン（menu）> 設定 > アプリケーション
2. アプリケーションの管理 > 対象のアプリケーションを選択 > アンインストール

本体メモリまたはメモリカードの空き容量を増やす

本体メモリが少ない場合、以下を行うことができます。

● ブラウザで、すべての一時インターネットファイルとブラウザ履歴情報をクリアします（P.11-9）。
● すでに使用していないAndroid マーケットからダウンロードしたプログラムをアンインストールします（P.17-7）。

端末情報を確認する

本機のオペレーティングシステムのバージョンや電話IDなどの情報を確認します。

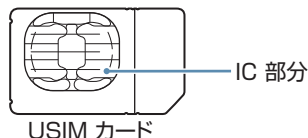
1. メニューボタン（menu）> 設定 > この携帯電話について

付録 20

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIMカードは、お客様の電話番号や連絡先などの情報が入ったICカードです。本機のご利用にはUSIMカードが必要です。

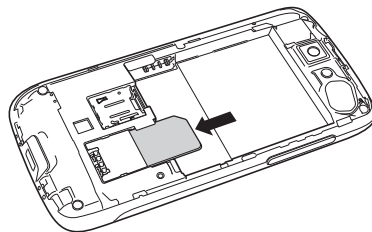
- USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応ソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードに使用する機器は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。指定以外のものを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 他社製品のICカードリーダーなどに、USIMカードを挿入して故障したときは、お客様ご自身の責任となり、当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- USIM カードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

その他ご注意

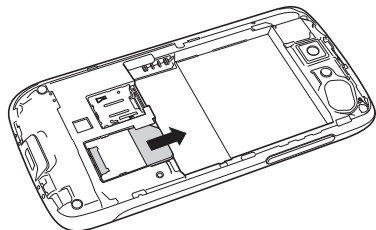
- USIM カードの所有権は当社に帰属します。
- 解約、休止などの際は、USIM カードを当社にご返却ください。
- 紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- USIM カードや本機を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登録された情報内容が消失した場合でも、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- USIM カードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。
- お客様からご返却いただいたUSIM カードは、環境保全のためリサイクルされています。

USIMカードを取り付ける／取り外す

USIMカードの取り付け／取り外しは、電池パックを取り外してから行います（P.1-8）。

■USIMカードの取り付け

1. **USIM カードの IC 部分を下にして、USIMカードをゆっくりと差し込む**

■USIMカードの取り外し

1. USIMカードをゆっくりと取り出す

注意

- 無理な取り付け／取り外しを行うと、USIMカードや本機が破損することがありますので、ご注意ください。
- 取り付け／取り外しを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷を付けたりしないでください。IC部分に汚れなどが付着すると、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

PINコード

USIMカードには、「PINコード」と「PIN2コード」の2つの暗証番号があります。

PINコード

第三者によるソフトバンク携帯電話の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

● お買い上げ時には「9999」に設定されています。

● PINコードは変更できます（P.18-2）。

● USIMカードを本機に取り付けて電源を入れたときに、PINコードを入力しないと本機を使用できないようにすることができます（P.18-2）。

PIN2コード

オンラインサービスなどで個人認証が必要な場合に入力する4～8桁の暗証番号です。

注意

- 本機ではPIN2コードは変更できません。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINコードの入力を3回続けて間違えると、PINロックが設定されます。PINロック解除コード（PUKコード）を入力すると、PINロックは解除されます。

● PUKコードとPINロック解除方法については、お問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。

注意

- PUK コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようにご注意ください。
- PUK コードの入力を 10 回連続して間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。
- USIMカードがロックされた場合は、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。

データのバックアップと復元

本機にはデータといくつかの設定（ブックマークやWi-Fiのパスワードなど）をメモリカードへ自動的にバックアップする機能があります。

補足

- バックアップされる設定は以下のとおりです。
  - ・SMS
  - ・ブラウザのブックマーク
  - ・設定
    - ・アプリケーションの設定
    - ・無線とネットワーク
    - ・音とディスプレイ
    - ・位置情報
    - ・日時設定

自動バックアップを設定する

1. **メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ プライバシー**
2. **データと設定をバックアップ ＞「データと設定をバックアップ」にチェックを付ける**

バックアップデータを復元する

本機をリセットして、再起動時にSDカードからバックアップデータを復元します。

1. **メニューボタン（menu）＞ 設定 ＞ プライバシー**
2. **出荷時データにリセット ＞ 電話をリセット**
3. **確認画面が表示されたら、すべて削除**
4. **再起動後に、「私のデータと設定を復元」画面が表示されたら、OK**
   「クイックスタートウィザード」が起動するので、各項目で必要な設定をして、最後に完了をタップしてください。

ソフトウェアの更新

本機では、ネットワークを利用してソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

- ●ソフトウェア更新時のデータのダウンロードなどには通信料がかかります。通信料はご契約内容によって異なります。
- ●本機は、ソフトウェアのアップデートや、サーバーとの接続を維持する通信など一部自動的に通信を行う仕様となっております。このため、「パケットし放題」などのパケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ●ソフトウェア更新には、約30分程度かかる場合があります。更新が完了するまで、本機は使用できません。
- ●ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ●ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- ●ソフトウェア更新中は、他の機能は操作できません。
- ●必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします（一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合があります）。ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状況（故障など）により、データが失われる可能性があ

ります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックやUSIMカードを取り外したり、電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合はお問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。

注意

ソフトウェア更新後に再起動しなかったとき

- 電池パックをいったん取り外したあと再度取り付け、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、ご契約のソフトバンクの故障受付（P.20-18）にご相談ください。
  ご契約の内容によっては、通信料金表示機能が利用できないことがあります。このときは、限度額設定も利用できません。

1. **メニューボタン（menu）> 設定 > この携帯電話について**
2. **システムソフトウェアの更新 >「定期的なチェック」にチェックを付ける**
   サーバーから定期的にソフトウェアの更新をチェックします。
3. **システムソフトウェアの更新がある旨のメッセージが表示されたら、ダウンロード方法を選択 > OK**
4. **インストールを確認するメッセージが表示されたら、今すぐインストールを選択 > OK**

手動で更新をチェックする

1. **メニューボタン（menu）> 設定 > この携帯電話について**
2. **システムソフトウェアの更新 > 今すぐチェック**

本機をリセットする

本機をリセットすると、ダウンロードしたアプリケーションを含む全データが削除され、お買い上げ時の状態にすることができます。

重要

- 本機をリセットする前に、重要なデータをバックアップしていることを確認してください。
- 購入済みの Android マーケットアプリケーションについては、再度ダウンロードしてインストールすることができます。

1. **メニューボタン（menu）> 設定 > プライバシー**
2. **出荷時データにリセット > 電話をリセット**
3. **確認画面が表示されたら、すべて削除**

補足

- 本機が停止したり、入力を受け付けなくなったり、フリーズしたりする場合、電池パックをいったん取り出して数秒待ち、それから再度電池パックを取り付けます。電池パックの装着後、電源をオンにしてください。

故障かな？と思ったら

症状	確認／処置
電源が入らない	• 電源ボタンを押しましたか？ • 電池切れになっていませんか？ • 電池パックは正しく本機に取り付けられていますか？（P.1-8）
電源を入れたのに操作できない	• PINコードを入力する画面が表示されていませんか？（P.18-2） PINコードを入力してください。
電源を入れたときに「USIM カードがありません」というメッセージが表示される	• USIMカードが正しく本機に取り付けられていますか？（P.20-2） • 指定された正しいUSIMカードをお使いですか？ • USIM カードの IC 部分に指紋などの汚れが付着していませんか？ 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。
操作ができない	• ロック解除画面が表示されていませんか？ ロックを解除するパターンを入力してロックを解除してください。
電話がかけられない	• 市外局番からダイヤルしていますか？ • 発着信規制サービスの発信制限が設定されていませんか？（P.3-9）

症状	確認／処置
電話がつながらない、メールやWebが利用できない	• 「 」アイコンが表示されていませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。 • 「機内モード」がオンになっていませんか？ メニューボタン（menu）＞ **設定** ＞ **無線とネットワーク**で「機内モード」のチェックを外してください。 • 内蔵アンテナ（P.1-4）部分を手で覆っていませんか？ 内蔵アンテナ部分を手で覆わないようにして持つと、電波の受信状態が改善される場合があります。
ダイヤルしても話中音（プープー...）が鳴ってつながらない	• 市外局番からダイヤルしていますか？ • 「 」アイコンが表示されていませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。
通話が途切れたり、切れたりする	• 「 」アイコンが表示されていませんか？ • 電波の届きにくい場所でかけていませんか？ • 電池切れになっていませんか？
充電中に熱くなる	• 充電中、充電器が熱くなったり、長時間使用すると本機が熱くなったりすることがありますが、手で触れることができる温度であれば異常ではありません。ただし、本機を長時間肌に触れたままにして使用していると、低温やけどになる恐れがあります。 • 充電中に一定の温度を超えた場合は、自動的に充電を停止します。一定の温度以下に戻ると、自動的に充電を再開します。

症状	確認／処置
プログラムを起動してもそのプログラムの最初の画面が表示されない	• すでにそのプログラムを起動していませんか？ プログラムを起動している場合は、最後に動作していた状態の画面が表示されます。一度プログラムを終了させてから、再度起動させてください。 アプリケーションによっては終了できないアプリケーションもあります。本機の電源を一度切るとアプリケーションは終了します。
充電できない	• 充電器のmicroUSBプラグが本機に確実に差し込まれていますか？（P.1-10） • ACアダプタのACプラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？（P.1-10） • 電池パックが本機に装着されていますか？ • 本機や電池パックの充電端子、充電器のmicroUSBプラグ、本機の外部接続端子（USBポート）が汚れていませんか？ 端子部をきれいにしてください。 • 使用環境の温度が5℃～35℃の範囲外になると、充電できないことがあります。 • 電池パックの寿命、または電池パックの異常の可能性があります。 新しい電池パックと交換してください。

症状	確認／処置
電池の消耗が早い	• 使用環境（周囲の温度／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。「充電時間と利用可能時間の目安」（P.1-7）、「電池パックの持ちについて」（P.1-8）を参照してください。 • ワイヤレスLANやBluetooth®の通信機能がオンになっていると、電池パックの消耗が早くなります。「無線とネットワーク」（P.19-2）で、使用していない通信機能をオフにしてください。 • Exchange Serverによるプッシュメールの受信（Microsoft Direct Push）をオンにしていると電池パックの消耗が早くなります。
Bluetooth® 対応機器から検出されない	• 「無線とネットワーク」でBluetooth®の通信機能がオフになっていませんか？ チェックを付けてオンにしてください。 また、Bluetooth®の接続設定についてはP.12-2を参照してください。
ワイヤレスＬＡＮ（無線LAN）に接続できない	• 「無線とネットワーク」で「Wi-Fi」がオフになっていませんか？ チェックを付けてオンにしてください。 また、ワイヤレスLANの接続設定についてはP.11-2を参照してください。
動作が不安定	• 複数のプログラムを同時に起動している場合など、メモリの空き容量が不足すると、本機の動作が不安定になる場合があります。

こんなときはご使用になれません

「 」が表示されているとき	サービスエリア外か電波が届きにくい場所です。受信電波の強さを示すバーが１本以上表示される場所に移動してください。
本機がロックされているとき	誤操作防止のため本機がロックされています。ロックを解除しないと操作することはできません。ただし、ロック中でもかかってきた電話に出ることはできます。
機内モードがオンのとき	「機内モード」がオンになっていると、すべての電波の発信が制限されます。
電池残量不足のとき	電池残量がなくなっています。電池パックを充電するか、充電済みの電池パックと交換してください。

SMSの発着信規制について

SMSの送信／受信を規制するには、電話番号入力画面で以下のコマンドを入力してダイヤルします。

国内／海外国へのすべての送信	有効	*33*PWD*16#
	無効	#33*PWD*16#
	設定の確認	*#33#
国内→海外国、海外国A滞在中→海外国B(日本含む)へのSMS送信	有効	*331*PWD*16#
	無効	#331*PWD*16#
	設定の確認	*#331#
国内→海外国、海外国A滞在中→海外国B(日本以外)へのSMS送信	有効	*332*PWD*16#
	無効	#332*PWD*16#
	設定の確認	*#332#
国内／海外滞在中のすべての受信	有効	*35*PWD*16#
	無効	#35*PWD*16#
	設定の確認	*#35#
ローミング時の受信	有効	*351*PWD*16#
	無効	#351*PWD*16#
	設定の確認	*#351#
すべて停止		#330*PWD*16#

※ PWD：発着信規制用暗証番号（数字４桁）

仕様

システム情報

プロセッサ	Qualcomm MSM8250 1GHz
メモリ	・ ROM：512 Mバイト ・ RAM：448 Mバイト
オペレーティングシステム	Android2.1

電源

電池パック	リチウムイオンポリマー電池、1400 mAh
充電時間	ACアダプタ使用時：約180分
連続待受時間	3Gモードの場合：約406時間 GSMモードの場合：約308時間
連続通話時間	3Gモードの場合：約390分 GSMモードの場合：約310分
メディア再生	約15時間(MP3:音楽)、約6時間(MP4:動画)
電源電圧	ACアダプタ:入力AC100-240V、出力DC5V

ディスプレイ

LCD	タッチパネル付3.7インチ（WVGA）AMOLED
解像度	480×800（65,536色）

W-CDMA／GSM／EDGEモジュール

通信方式および帯域	・ W-CDMA、HSDPA（3Gハイスピード） - 900MHz／2100MHz ・ GSM／GPRS／EDGE - 850MHz／900MHz／1800MHz／1900MHz
アンテナ	内蔵

外装

寸法	119mm（H）×60mm（W）×11.9mm（D）
質量	135g（電池パックを含む）

カメラ

タイプ	500万画素カラーCMOSカメラ（オートフォーカス、フラッシュ付き）
解像度	5:3（ワイドスクリーン） 5M（2592×1552）、3M（2048×1216）、1M（1280×768）、Wide（640×384） 4:3（標準フォトサイズ） 5M（2560×1920）、3M（2048×1536）、2M（1600×1200）、Wide（640×480）
デジタルズーム	最大2倍

オーディオ／ビデオ

オーディオ	ACC／AMR／OGG／M4A／MID／MP3／WAV／WMA
ビデオ	3GP、3G2、MP4、WMV

拡張スロット

カードスロット	microSD™/microSDHC™

ACアダプタ

電源電圧	AC100V-240V、50-60Hz
出力電圧／出力電流	5V／1A
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ	42mm(W) × 77mm(H) × 22mm(D)

外部接続

microUSB	USB 2.0、シリアル、オーディオ、電源接続用
Bluetooth®	Bluetooth®標準規格Ver. 2.1＋EDR準拠 Power Class2 FTP（データ転送プロファイル） OPP（オブジェクトプッシュプロファイル） A2DP（オーディオプロファイル） PBAP（フォンブックアクセスプロファイル）
ワイヤレスLAN	IEEE 802.11b/g

索引

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

Q

S

T

U

V

W

Y

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 修理を依頼される場合、お問い合わせ先（P.20-18）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

注意

本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な連絡先などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（連絡先やフォルダの内容など）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合、および電池カバー内のネジを覆っているシールをはがされた場合は、修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- 故障または修理の際、MACアドレスが変更になることがありますのであらかじめご了承ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（P.20-18）までご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

ソフトバンクモバイルお客さまセンター
総合案内：ソフトバンク携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付：ソフトバンク携帯電話から113（無料）

ソフトバンクモバイル国際コールセンター
海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡
＋81-3-5351-3491（有料）

一般電話からおかけの場合

地域		
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

SoftBank X06HT　取扱説明書

2010年4月　第1版
ソフトバンクモバイル株式会社

※ご不明な点はお求めになられた
　ソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：SoftBank X06HT
製造元：HTC Corporation

マナーもいっしょに携帯しましょう。

SoftBank X06HT User Guide 取扱説明書

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる
電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。
※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳、通話履歴、メール等）は、事前に消去願います。